

第1章 2020年度事業報告

目次

概要	-----	1
1 活動報告	-----	1
2 会議・会合	-----	4
3 会員	-----	9
4 表彰	-----	9
5 粉体工業展	-----	10
6 常置委員会	-----	13
7 臨時委員会	-----	28
8 分科会	-----	29
9 粉体工業技術センター	-----	37
10 技術情報交流懇話会	-----	39
11 共催・協賛及び後援行事	-----	40
12 刊行物	-----	41

2020 年度事業報告

自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

(2021 年 5 月 13 日理事会承認用)

概要

わが国の 2020 年度の実質 GDP 成長率は前年と比較して低下の見通しです。2021 年 3 月の日銀短観によると、国内経済全体としては、設備投資の減少は続いているものの業績は底打ちし景気観は改善に転じていると判断されています。製造業・非製造業も堅調に推移しており、業況判断指数は改善しつつあり、大企業・製造業では好転すると予測されています。

このような状況下、当協会では、コロナ禍ではありましたが 2020 年 11 月 18 日(水)～11 月 20 日(金)、新設の東京ビッグサイト南館にて国際粉体工業展東京2020を開催し、出展社・来場者ともに減少したものの収益としては黒字を確保できました。また出展者からは、目的意識を持った来場者が多数いた、などの前向きな評価意見があり、来場者からも、コロナ感染対策が取られており安心できた、などの意見がありました。協会の会員数は 2021 年 3 月末で 397 でした。

協会の 3 本柱の一つである、「分科会活動」においては、2020 年度はバイオ粒子プロセス分科会が発足し活動をスタートしました。また、「委員会活動」においては、2021 年 4 月発足予定の AI 技術利用委員会の設立準備を進めました。

一方、当協会では 2019 年度からスタートしました「第 2 期 中期運営計画(2019～2021 年度)」に沿って活動を行い、その 2 年目として、期初に計画しました方針および予算に基づき事業計画を遂行しましたが、コロナ禍の影響により、当期一般正味財産増減額は、期初の予算比約▲60,000 千円となりました。

以下に 2020 年度事業の概要を報告します。

1.活動報告

1-1 調査・研究事業(分科会、分科会運営、技術)

14 の単位操作・常置型分科会と 7 の目的指向・プロジェクト型分科会の合計 21 の分科会が、延べ 18 回の分科会本会合を開催しました。うち、オンサイト開催が 7 回、Web 開催が 11 回(合同 1 回)となっています。今年度の開催回数は前年度 53 回から減少しました。分科会登録者数は、4,282 名(内、非会員 33.3%)となり、前年度より増加しています。(前年度 3,013 名(非会員 31.5%))

今年度は、コロナ禍により、分科会本会合の開催が困難となり、上半期計画の大半が延期となりました。8 月の拡大分科会運営委員会では、「オンサイト」および「Web セミナー」開催の事例紹介などが行われ情報の共有化が進んだ結果、10 月以降は、本会合の開催が軌道に乗り始めました。特に、環境エネルギー・流動化分科会と晶析分科会は、感染予防対策を徹底し、計 4 回の本会合をオンサイトにより開催しました。また、約半数の分科会が Web セミナーを開催しました。今年度発足したバイオ粒子プロセス分科会は、国際東京粉体工業展 2020において、最新情報フォーラムを開催しスタートを切っています。

教育部門の行事は、今年度は粉体エンジニア早期養成講座が技術者養成講座への移行期でしたが、コロナ禍により、大半が中止となり、集じん分科会のみが開催されました。食品粉体技術分科会が計画していた専門講座は延期となり、来年度に開催を予定しています。

委員会活動では、ナノ粒子利用技術委員会が昨年と同様に 2 回の委員会を実施しました。8 月の委員会では「AI・IoT の粉体プロセスへの導入の現状と課題」のテーマで 4 件の講演があり、2 月の委員会ではナノ粒子利用技術委員会の活動の総括を行いました。本委員会は、今年度で活動を終了しますが、今後の活動はナノ粒子が関連する分科会(微粒子ナノテクノロジー、粒子積層技術)へ引き継がれます。

国際粉体工業展東京2020の主催者コーナーに、21 分科会が近未来技術を中心にポスター展示を行いました。また、併催イベント「粉体機器ガイダンス」を開催し、「粉体ハンドリング」、「集じん」および「粉砕(湿式)」分科会は機器基本原理と機器選定などの概要説明と機器紹介を行ないました。

1-2 広報・普及事業(総務、「粉体技術」誌編集、総覧発行、セミナー・フォーラム)

(1)セミナー・フォーラム

国際粉体工業展東京2020の併催行事として、最新情報フォーラム、各種セミナー、粉体機器ガイダンスなどを開催しました。注目度の高いテーマにスポットを当てた「最新情報フォーラム」、粉体の基礎を分かりやすく解説する「粉体工学入門セミナー」など、いずれも最近話題となっているテーマであり、多数の参加者を得て、技術情報の提供や協会活動の広報・普及に努めました。

(最新情報フォーラム)

・粉体シミュレーション	講演 4 件 76 名
・先端材料 ―社会が求めるハイブリッド・サイエンス―	講演 4 件 51 名
・バイオ粒子プロセス ―微粒子工学的視点から見た微生物の評価、利用、計測―	講演 3 件 47 名
・粒子径計測入門セミナー	講演 1 件 67 名
・粉じん爆発情報セミナー	講演 2 件 87 名
・ナノ粒子利用技術に関するセミナー	講演 5 件 74 名
・海外情報セミナー	講演 2 件 39 名
(粉体機器ガイダンス)	
・粉体ハンドリング	講演 2 件 95 名
・集じん	講演 1 件 85 名
・粉砕(湿式)	講演 1 件 89 名

(2) 技術情報の発信

各種技術情報は分科会会合や専門講座、セミナー、フォーラム、粉体工業技術センター 教育部門の講座を通じて発信されていますが、ホームページや月刊誌「粉体技術」も重要な発信源となっています。現在、「粉体技術」の読者の内、約 15%が協会会員以外であることも考慮して 2020 年度は以下のような特集を組みました。

月号	特集内容	月号	特集内容
4月号	協会を支える分科会活動	10月号	変わりゆく製鉄資源と変わり続ける製鉄プロセス
5月号	日ごろ目にしないセラミック製品と製造プロセス	11月号	SDGs 達成への貢献を目指す過集じん技術の新展開
6月号	粉体塗装(魅せる粉)	12月号	農林水産業に関わる粉体関連技術
7月号	プラスチックごみ海洋汚染	1月号	粉体の付着と摩耗に関する最新情報
8月号	多様化するスラリーハンドリングの新展開	2月号	連続生産装置における監視・計測の今
9月号	燃やす粉・消す粉	3月号	国際粉体工業展東京 2020 を終えて

上記以外にホームページやメールマガジンも発信しており、年平均のホームページへのアクセス数は 13,600 件/月(前年 16,475 件/月)、メルマガの平均発信数は 60,973 件/月(前年 63,108 件/月)でした。

(3) 「粉体技術総覧 2020/2021」の発行

国際粉体工業展東京に改訂、発刊している粉体技術総覧を今回も紙媒体および Web 版にて発行しました。本総覧は粉体機器をはじめ粉体技術や技術的な問合せ先、業務委託先など幅広い情報を網羅しています。製品や技術が分類ごとに掲載され、Web 版ではフリーワードやメーカーで検索できるよう機能充実させました。

(4) 技術相談

国際粉体工業展東京2020では「技術相談コーナー」を開設し、3 日間で 17 件(前回、2020 年は 64 件)の相談を受けました。

1-3 人材育成・教育事業(教育部門)

粉体工業分野における粉体技術の継承、専門技術者の育成と継続的教育および粉体工業に関係する人材のスキルアップを目的として、当年度も以下の講座、セミナーを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、7 講座が中止となりました。

・粉体入門セミナー(Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ)【Web】	3 回(合計 159 名)
・粉体エンジニア早期養成講座(6 講座)	中止
・粉体技術者養成講座(集じん)	1 回(合計 12 名)
・粉じん爆発・火災安全研修(初級基礎編)	中止

上記のように、開催回数は5回であり、うち4回はWeb講座となりました。

1-4 規格・標準化事業(標準粉体、規格、粉じん爆発)

・標準粉体委員会

標準粉体委員会は2回会議を開催しました。JIS Z 8901に収載されている試験用粉体1の粒子径分布測定法については、沈降天秤法による測定を継続し、JIS改定は行わないことに決定しました。一方、SAP試験用粉体3については、JIS規格化を進めるための、予備試験(継続)を行いました。

・規格委員会

規格委員会では、協会規格およびJISの定期見直しのほか、2件のJIS原案を日本規格協会(JSA)に提出し、2021年3月22日に制定された(Z 8829:粒子径解析-粒子軌跡解析(PTA)法、Z 8845:遠心法による粒子付着力測定方法)。また、2件のJIS原案作成委員会を設置し、原案を作成しました(Z 8801-2:試験用ふるい-第2部:金属製板ふるい、Z 8825:粒子径解析-レーザ回折・散乱法)。

・粒子特性評価委員会

粒子特性評価委員会は、ISO/TC24/SC4 Particle characterization(WG1~17)の第58回、第59回国際会議に出席、同時に新業務項目提案(NP)3件、国際規格案(DIS)2件、最終国際規格案(FDIS)2件、定期見直し(SR)7件、委員会内電子投票(CIB)3件に対して投票を行いました。

・ふるい委員会

ふるい委員会は、ISO/TC24/SC8 Test sieves, sieving and industrial screensのWeb会議に出席しました。

・集じん技術委員会

集じん技術委員会は、ISO/TC142/WG5およびWG7のWeb会議に出席しました。WG7において、日本提案の委員会原案ISO 22031が2021年2月に、IS(国際規格)として発行(60.60)されました。また、新業務項目提案NP 23742は2月に新規プロジェクトの投票が開始(10.20)されました。WG5においては、日本提案の予備業務項目PWI 16313-2は昨年、新規プロジェクトの投票で承認されなかったが、反対国を含む全エキスパートからのコメントを踏まえた修正案を作成し、WG5 Meetingで検討しました。

・粉じん爆発委員会

粉じん爆発委員会は3回のオンライン会議と、粉じん爆発・火災安全研修【中級】(オンライン配信)を開催しました。

1-5 海外交流事業(海外交流)

2019年度の協会の活動内容や情報を記載した英文レポート APPIE Annual Report を作成し、2020年8月に協会ホームページに掲載するとともに約1,100の海外交流先(団体・個人)にメール配信しました。

第10回海外情報セミナーを「東南アジアへの企業進出サポートとその実績・経験談」をテーマに、国際粉体工業展東京2020において開催しました。

海外行事関連では、下記の海外展示会に出展しました。

・KOREA CHEM 2020(韓国、7.27-30)において協会の交換ブースを設置し、POWTEX や入会促進のポスターを展示しました。

・IPB 2020(中国・上海、7/29-31)にて、交換ブースおよび会員企業8社による共同出展ブースを設営し、現地法人と代理店が参加、各社のパネルや商品サンプルの展示のほか、POWTEX および入会促進のパネルも展示しました。

1-6 展示会事業

2020年11月18日(水)~11月20日(金)に東京ビッグサイト 南1・2ホールと南会議室において国際粉体工業展東京2020を開催しました。出展は142社および10団体で、457小間であり、新型コロナウイルスにより、出展社数、小間数ともに2018年と比較するとほぼ半減し、来場者数は5,060名と、前回の約30%になりました。出展社からは「来訪者は例年よりも少なかったが、密度の濃い説明などができ、また、交換した名刺数も例年より多かった」との感想が聞かれ、来場者からは「有意義な情報が入手できた。今回の展示に満足しており、次回も来場したい」という評価が多く、意義のある展示会でした。

1-7 標準粉体製造頒布事業(製造事業部門)

売上については、コロナ禍の影響があり計画を下回る83,311千円となり、昨年度実績の95,160千円から約12%減少しました。一方、営業利益は22,000千円で昨年度より約10%減少しました。島津式沈降天秤測定機の更新にあたり、ホソカワミクロン(株)で2020年10月より従来機と代替機との比較検証測定作業を開始し、2022年3月まで継続します。なお、ガラスビーズGBM-20と混合3種の販売は終了しました。

1-8 会員共益事業(技術情報交流懇話会、推薦審査、人材育成)

・技術情報交流懇話会

火曜会(東京2回)、水曜会(名古屋2回)、木曜会(大阪2回)、金曜会(福岡1回)、合計7回186名(前年917名)の参加がありました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、東京1回、名古屋1回、大阪1回、福岡2回の開催が中止されました。

・推薦審査委員会

例年通り、分科会功労賞、個人会員・会友の入会審査、協会賞、粉体工業展賞、粉体工業功績者表彰の推薦を会長に答申、理事会で承認されました。

・人材育成委員会

若手のつどいは、Webにて1回開催しました。

また、国際粉体工業展東京2020の併催イベントとして「粉工展見学ガイダンス」をWebと併用し2020年11月18日に開催しました。参加者は現地19名(企業8名、学校11名)、Web32名、合計51名でした。

2. 会議・会合

2.1 第37回定時総会

日時:2020年5月20日(水) 開始午後2時

場所:協会本部会議室および協会東京事務所(Webとオンサイトによりハイブリッド形式にて開催)

出席者:出席正会員総数312名(出席:10名、委任状提出者:302名)

(正会員総数:387名)

定刻午後2時に、当協会定款第15条に従い、山田幸良代表理事会長が議長となり、開会を宣言し、議事に入った。

議長より、当日2020年5月20日現在、当協会の議決権を有する正会員総数は387名(議決権総個数387個)に対し、当日出席正会員10名(当日議決権個数10個)、議決権行使書面提出者302名(書面議決権行使個数302個)、合計312名(議決権総個数312個)となり、今回は定款の変更事項が含まれているため、表決者数(出席者と書面評決者の合計)は当協会定款17条第2項に定める定足数である三分の二を得ていることにより、本総会が有効に成立する旨の報告があった。

引続き、議案書に基づき、報告事項2件の報告と決議事項5件の議案審議に入った。

報告事項1:2019年度事業報告ならびに2020年度事業計画および予算

題記の件につき、石井興一専務理事より、第39回定時総会参考資料に基づき夫々説明があった。

2019年度事業報告については、同資料p.1“第1章2019年度事業報告”に基づき、5つの公益目的事業(調査・研究事業、広報・普及事業、人材育成・教育事業、規格・標準化事業および海外交流事業)と3つのその他事業(展示会事業、標準粉体製造頒布事業および会員共益事業)の報告があった。

さらに、法人会員数の推移および現時点での法人会員内訳(地域別、業種別)について説明があった。

2020年度事業計画については、資料に基づき、魅力ある協会に向けて、5つの重点目標(1.基盤技術の発展と重要技術の周知 2.先端技術の情報発信 3.教育事業の再構築 4.国際化の推進 5.組織の強化)と、第2期中期運営計画(2019年～2021年)の報告があった。

2020年度予算については、同総会参考資料p.77“第4章2020年度予算”に基づき、経常収益は559,571千円、経常費用は502,107千円、および当期正味財産増減額は税引き後41,464千円の増加を見込んでいることが報告された。

報告事項2:2019年度計算書類などに関する監査報告

渡部尚監事より監査報告があり、2019年度における業務および財産の実施状況について監査を行なった結果、法令および定款に反する重大な事実は認められず適正であった旨の報告があった。

議長より、報告事項1および2について質疑を求めたところ、出席者からの意見、質問はなく報告どおり了承された。

決議事項

第1号議案:2019年度正味財産増減計算書および貸借対照表の承認

題記につき、石井興一専務理事より、2019 年度貸借対照表および正味財産増減計算書の承認の件について、第 39 回定時総会参考資料 p.47 “第 2 章 2019 年度決算報告”に基づき説明があった。

正味財産増減計算書総括表(p.47)において、経常収益は 400,397 千円、経常費用は 396,646 千円となり、税引き後当期一般正味財産増減額は 3,611 千円(対予算比で 16,606 千円の増加)になり、その結果、正味財産期末残高は 500,110 千円となることが説明された。

貸借対照表(p.48)の通り、資産は前年度比で 16,535,436 円減少、負債は前年度比で 19,996,779 円減少、その結果正味財産は前年度比で 3,461,343 円の増加となった旨説明があった。

これらの説明に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 1 号議案は原案通り承認可決された。

第 2 号議案:定款の変更(外国法人の入会の件)

題記につき、石井興一専務理事より、将来を見据え、国内に法人登記のない外国法人も当協会(一般社団法人 日本粉体工業技術協会)に入会できるようにする目的で、議案書 p.3“一般社団法人 日本粉体工業技術協会 定款(案)”の第 3 章「会員」、第 4 章「総会」、第 6 章「理事会」のそれぞれ一部の条項を変更したい旨の説明があった。

これに対して 3 件の質問があり、山田幸良代表理事会長が、これまでの議論・検討を踏まえて事実関係および考え方を答えた。

その上で第 2 号議案は原案通り承認可決された。

第 3 号議案:定款の変更(役員、顧問および参与の報酬の件)

題記につき、報酬範囲の変更に伴い既存の定款では数値が実情に即していないとして、石井興一専務理事より、議案書 p.3“一般社団法人 日本粉体工業技術協会 定款(案)”の第 5 章「役員、顧問および参与」の一部の条項を変更したい旨の説明があった。

この説明に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 3 号議案は原案通り承認可決された。

第 4 号議案:理事 33 名および監事 3 名の選任

題記につき、山田幸良代表理事会長から議案書 p.10“2020-2021 年度 理および監事の候補者(50 音順)”について説明があった。

この説明に対して議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 4 号議案は原案の候補者個別に承認可決された。

第 5 号議案:常勤理事に対する報酬

山田幸良代表理事会長から、新任専務理事の報酬については、当協会(一般社団法人 日本粉体工業技術協会)の「役員報酬規程」に限度額が定められており、その範囲で会長に一任する。また、退任専務理事の慰労金については、「退職金および慰労金規定」で定められているので、それに従い決定する旨の説明があった。

この説明に対し議長より承認を求めたところ、出席者全員異議なく、第 5 号議案は原案通り承認可決された。

以上で、第 39 回定時総会の議事はすべて終了し、午後 2 時 53 分に議長は閉会を宣言した。

2.2 理事会

第 1 回理事会

日 時: 2020 年 5 月 12 日(火)午後 3 時 ~ 午後 4 時 20 分

場 所: (一社)日本粉体工業技術協会 協会本部会議室および東京事務所会議室

Web 会議

出席者: 山田幸良会長を含め理事 25 名、監事 3 名、顧問 1 名、合計 29 名(うち web 出席者 21 名)

事務局: 事務局長 1 名、事務局長代理 1 名、総務係 1 名

議 事:

第 1 号議案 入、退会会員

第 2 号議案 定款の変更

第 3 号議案 2020・2021 年度の理事および監事

第 4 号議案 2019 年度事業報告、決算報告および監査報告

第 5 号議案 2020 年度事業計画と中期運営計画の確認

報告事項 1. 共催、協賛および後援行事

- 報告事項 2. (株)日刊工業コミュニケーションズとの「粉体技術総覧 2020/2021」制作に係わる
業務委託契約書締結
- 報告事項 3. 海外展示会との交換ブース、日程の変更
- 報告事項 4. 総会における議決権行使方法の追加
- その他

第2回理事会

- 日 時: 2020年5月20日(水)午後3時
- 場 所: (一社)日本粉体工業技術協会 協会本部会議室および東京事務所会議室
Web 会議
- 出席者: 山田幸良理事を含め理事27名、監事3名 合計30名(うちweb出席者18名)
- 議 事:
- 第1号議案 会長の選定
 - 第2号議案 副会長および専務理事の選定
 - 第3号議案 常務理事の推薦
 - 第4号議案 技術情報交流懇話会(火、水、木、金曜会)担当理事の推薦
 - 第5号議案 顧問および参与の推薦

第3回理事会

- 日 時: 2020年7月14日(金)午後2時～午後4時05分
- 場 所: 東京ガーデンパレス (3階:白鳳の間)
Web 会議
- 出席者: 山田幸良会長、牧野尚夫、細川悦男、加藤文雄各副会長を含め
理事 27 名、監事 3 名、合計 30 名(うち web 出席者 20 名)
- 事務局: 東京事務所所長 1 名、総務課 1 名
- 議 事:
- 第1号議案 入、退会会員
 - 第2号議案 粉体工業展の業務委託契約
 - 第3号議案 協会規定 11-2「JIS 原案の新規作成および既存 JIS の確認・改正・廃止に関する指針」の一部改正
 - 第4号議案 協会規定 13-3「細川明彦・佐知子基金 運用管理規程」の一部改定
 - 第5号議案 事務局職員の給与改定
 - 報告事項 1. 副会長の業務分担
 - 報告事項 2. 国際粉体工業展東京2020の開催
 - 報告事項 3. 特別協賛会費の申込み状況
 - 報告事項 4. 2021 年度協会主要行事日程(案)
 - 報告事項 5. 海外粉体工業展の対応方針
 - 報告事項 6. 分科会人事
 - 報告事項 7. 事務局職員の昇格
- そ の 他

第4回理事会

- 日 時: 2020 年 11 月 10 日(火)午後 12 時 35 分～午後 2 時 35 分
- 場 所: ホテルグランヴィア京都(3階 源氏の間)
Web 会議
- 出席者: 山田幸良会長、牧野尚夫、細川悦男、加藤文雄副会長含め
理事 29 名、監事 2 名、合計 31 名(うち web 出席者 5 名)
- 事務局: 東京事務所所長 1 名、経理課 1 名、総務課 1 名
- 議 事:
- 第1号議案 協会規定「3-1 法人会員に関する規程」の一部改定
 - 第2号議案 入、退会会員
 - 第3号議案 委員会の人事
 - 第4号議案 2020 年度分科会功労賞、委員会・部門功労賞の選考
 - 第5号議案 粉体工業展大阪の名称変更
 - 第6号議案 国際粉体工業展大阪2021に係わる粉体工学会との覚書(案)締結
 - 第7号議案 協会広報の改革

- 第 8 号議案 AI 技術利用委員会の発足
- 第 9 号議案 創立 50 周年記念事業の企画案
- 第 10 号議案 有価証券の買付
- 第 11 号議案 2021 年度協会主要行事日程
- 報告事項 1 国際粉体工業展東京2020の状況と実行予算
- 報告事項 2 国際粉体工業展大阪2021の計画概要
- 報告事項 3 「粉体技術誌」印刷会社の変更
- 報告事項 4 2020 年度新個人会員の推薦募集および入会審査のスケジュール
- 報告事項 5 2020 年度分科会連絡会議および委員会・部門連絡会議の開催
- 報告事項 6 ワールドインシュアランスブローカーズ PL 保険および E&O 保険の募集
- 報告事項 7 共催、協賛および後援行事
- 報告事項 8 産学技術交流推進部門 アドバイザーの就任
- 報告事項 9 代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告
- その他

第 5 回理事会

日 時:2021 年 3 月 17 日(水) 午後 2 時 30 分～午後 17 時 00 分

場 所:ANAクラウンプラザホテル大阪(3階:平安の間)

Web会議

出席者:山田幸良会長、牧野尚夫、細川悦男、加藤文雄を含め

理事 29 名、監事 2 名、合計 31 名(うち Web 出席者 18 名)

事務局:東京事務所長 1 名、経理課 1 名、総務課 1 名

議 事:

- 第 1 号議案 入、退会会員
- 第 2 号議案 分科会および委員会の人事変更
- 第 3 号議案 協会規程「12-1 就業規則」の一部改定
- 第 4 号議案 協会規程「5-2 委員会規約」および「13-13 I S O 国際会議出席費用の補助に関する覚書」の改定
- 第 5 号議案 2021 年度の JIS 原案作成委員会設置
- 第 6 号議案 2021 年度の受託事業
- 第 7 号議案 協会賞受賞者、粉体工業功績者および細川明彦・佐知子基金による粉体工業展賞受賞者の選考
- 第 8 号議案 国際粉体工業展大阪 2 0 2 1 の開催
- 第 9 号議案 2021 年度の予算
- 第 10 号議案 第 40 回定時総会の招集
- 報告事項 1 国際粉体工業展東京 2 0 2 0 の決算報告
- 報告事項 2 日本包装機械工業会との交換ブース覚書締結
- 報告事項 3 持続化給付金および家賃支援給付金
- 報告事項 4 買付債券の内容報告
- 報告事項 5 中小企業等経営強化法等に基く固定資産税軽減措置制度の証明書発行の運用状況
- 報告事項 6 共催、協賛および後援行事
- 報告事項 7 事務局職員(重要な人事)の異動
- 報告事項 8 理事の退任
- 報告事項 9 代表理事および業務執行理事の職務の執行状況の定期報告
- その他

2.3 秋期定例会合

日 時:2020 年 11 月 10 日(火) 午後 2 時 30 分～午後 6 時 30 分

場 所:ホテルグランヴィア京都(3 階・源氏の間)

出席者:山田幸良会長、牧野尚夫、細川悦男、加藤文雄各副会長、前田孝善専務理事を含め

合計 75 名

次 第:

- | | | |
|------------------------|--------|------|
| 1.協会挨拶 | 代表理事会長 | 山田幸良 |
| 2. 2020 年度協会事業の上半期実績報告 | 専務理事 | 前田孝善 |
| 3. 特別講演 | | |

講演:消費財における技術革新～「人と技術のふれあい」による創造の喜び～

講師:ライオン株式会社 顧問、東京農工大学 監事 角井寿雄氏

4. 懇親会

2.4 分科会連絡会議

日時:2021年1月22日(金) 午後1時～午後5時10分

場所:名鉄グランドホテル(11階・柏の間)およびWeb会議

出席者:山田幸良会長、牧野尚夫、加藤文雄副会長を含め、合計66名(うちWeb出席者44名)

(司会進行 専務理事 前田孝善)

- | | | |
|-------------------------------|---------------|-------|
| 1. 開会挨拶 | 代表理事会長 | 山田幸良 |
| 2. 分科会運営委員会委員長挨拶 | 委員長 | 奥山喜久夫 |
| 3. 協会からの連絡事項とお願い | 専務理事 | 前田孝善 |
| 4. 分科会報告 | 各代表幹事 | |
| 5. 第16回分科会功労賞、第7回委員会・部門功労賞表彰式 | 代表理事会長 | 山田幸良 |
| 6. AI技術利用委員会の紹介 | AI技術利用委員会 委員長 | 酒井幹夫 |
| 7. 分科会報告と分科会のオンライン開催について | 分科会運営委員会 | |
| 8. 閉会挨拶 | 副会長 | 牧野尚夫 |

第16回分科会功労賞は9名、委員会・部門功労賞は4名の方々が受賞された(10頁 4.5 分科会功労賞、4.6 委員会・部門功労賞を参照)。

2.5 委員会・部門連絡会議

日時:2021年1月23日(土) 午前9時30分～午後2時20分

場所:名鉄グランドホテル(11階 柏の間)およびWeb会議

出席者:山田幸良会長、牧野尚夫、加藤文雄副会長を含め、合計27名(うちWeb出席者17名)

(司会進行 専務理事 前田孝善)

- | | | |
|-----------------------------|-----------|------|
| 1. 開会挨拶 | 代表理事会長 | 山田幸良 |
| 2. 協会からの報告と連絡事項 | 専務理事 | 前田孝善 |
| 3. 各委員会・部門の現状と2021年度の計画について | 各委員会・部門代表 | |
| 4. 全般討議(委員会運営に係わる全般事項等の討議) | | |
| 5. 閉会挨拶 | 副会長 | 加藤文雄 |

2.6 委員長連絡会

第1回 2020年9月10日(木)

大阪/出席者14名(うちWeb出席者3名)

2.7 諮問会議

第1回	(通算66回)	2020年4月14日(火)	京都・Web/出席者10名
第2回	(通算67回)	2020年6月10日(水)	京都・Web/出席者9名
第3回	(通算68回)	2020年10月21日(水)	名古屋・Web/出席者9名
第4回	(通算69回)	2021年3月4日(木)	京都・Web/出席者10名

2.8 監査

日時:2021年4月26日(木) 14:00～15:00

場所:京都/協会本部会議室

出席者:新井英植監事、渡部尚監事、棚橋純一監事

前田専務理事、山田経理担当

議事:2020年度正味財産増減計画書、貸借対照表、公益目的支出計画実施報告書の監査並びに業務監査

3. 会 員

3.1 会員数

	2019年度 終了時	2020年度		
		入 会	退 会	終了時
正会員	394	12	16	390
法人	325	7	9	323
個人	69	5	7	67
賛助会員	7	0	0	7
合 計	401	12	16	397

(3/31 時点)

3.2 入会者

- 1) 法人会員(7社)
 - ①(株)大阪冷研、②(株)ポリスフェア、③(株)別川製作所、④(株)成光工業
 - ⑤三井金属鉱業(株)、⑥(株)ネオス、⑦(株)リガク
- 2) 個人会員(5名)
 - ①飯村健次、②石神徹、③荻崇、④黒瀬良一、⑤河府賢治
- 3) 名誉個人会員(3名)
 - ①東谷公、②小宮山宏、③日高重助

3.3 退会者

- 1) 法人会員(9社)
 - ①エボニック ジャパン(株)、②サノボテクノロジー(株)、③日本禾基(株)、④メラー・トレド(株)
 - ⑤(株)アイテック、⑥松林工業(株)、⑦味の素食品(株)、⑧(株)日章アドミニブラン、⑨日本特殊陶業(株)
- 2) 個人会員 (7名)
 - ①東谷公、②田中勇武、③小宮山宏、④日高重助、⑤尾上薫、⑥榎原研正、⑦大森隆夫

4. 表 彰

2020年11月10日(火)、秋期定例会合に引続き、第34回協会賞授賞式、第27回粉体工業展賞、第11回大阪粉体工業展賞ならびに第34回粉体工業功績者の各表彰式を行った。又、2021年1月22日、分科会連絡会議の席上において、第16回分科会功労賞、第7回委員会部門功労賞の授与式を行った。

4.1 協会賞(第34回)

技術賞 村田博 (日清エンジニアリング(株))
技術賞 土橋律 (東京大学大学院)

4.2 粉体工業展賞(第27回)[細川明彦・佐知子基金補助]

宮原稔 (京都大学大学院)

4.3 大阪粉体工業展賞(第11回)[細川明彦・佐知子基金補助]

山本浩充 (愛知学院大学)

4.4 粉体工業功績者表彰(第34回)

(表彰項目別・法人会員名簿順)

No.	所属名	氏名	項目	No.	所属名	氏名	項目
1	エステック(株)	西村佳記	営業	14	太平洋エンジニアリング(株)	仲丸孝	技術
2	(株)栗本鐵工所	倉本昌洋	〃	15	(株)ダルトン	島田英明	〃
3	(株)セイシン企業	阿川直樹	〃	16	ソカサ工業(株)	石川晶紀	〃
4	中央化工機(株)	藤井規之	〃	17	東洋ハイテック(株)	山下芳史	〃
5	東和制電工業(株)	野々垣圭二	〃	18	(株)パウレック	戸井田宣隆	〃
6	(株)奈良機械製作所	丸山修	〃	19	フルード工業(株)	澤邊竜也	〃
7	日清エンジニアリング(株)	本多肇	〃	20	フロイント産業(株)	中島佳紀	〃
8	ホソカワミクロン(株)	佐野敦	〃	21	(株)堀場製作所	篠崎陽子	〃
9	明治機械(株)	森澤肇	〃	22	(株)徳寿工作所	山中淳志	生産

10	アシザワ・ファインテック(株)	小貫次郎	技術	23	赤武エンジニアリング(株)	加藤謙	製造
11	カツラギ工業(株)	山東広和	〃	24	三興空気装置(株)	藤永猛	〃
12	新東工業(株)	福永聖二	〃	25	タカラスタンダード(株)	足立洋二	〃
13	スペクトリス(株)マルバーン・ パナリティカル事業部	三輪敏博	〃	26	(株)ニッカトー	有本章浩	〃
				27	ライオン(株)	松下竜一	〃

(表彰項目内訳:技術・開発 12名、製造技術 5名、生産管理 1名、営業活動 9名 計27名)

4.5 分科会功労賞(第16回)

(氏名 50音順)

No.	氏名	分科会名	所属先
1	秋元祐	電池製造技術	赤武エンジニアリング(株)
2	岸下年秀	分級ふるい分け	ホソカワミクロン(株)
3	桑原敏之	造粒	株式会社ダルトン
4	杉野隆	集じん	アマノ(株)
5	田中俊哉	粒子加工技術	フロイント産業(株)
6	津崎裕也	晶析	月島機械(株)
7	坪内稔	粉体ハンドリング	(株)徳寿工作所
8	西村佳記	リサイクル技術	エステック(株)
9	細田博之	環境エネルギー・流動化	(株)神鋼環境ソリューション

4.6 委員会・部門功労賞(7回)

No.	氏名	委員会名	所属先
1	大山潤	「粉体技術」編集	(株)菊水製作所
2	桜井博	規格	(国研)産業技術総合研究所
3	佐藤一彦	人材育成	晃栄産業(株)
4	深田英稔	粉じん爆発	アマノ(株)

5. 粉体工業展

5.1 国際粉体工業展東京 2020 (第24回)

5.1.1 概要

会 期:2020年11月18日(水)~11月20日(金)

会 場:東京ビッグサイト 南1・2ホールおよび南会議室

主 催:(一社)日本粉体工業技術協会

後 援:農林水産省、文部科学省、(国研)産業技術総合研究所、

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所、(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)

特別協賛:(一社)粉体工学会、(公社)化学工学会、(株)日刊工業新聞社、

(株)日本工業新聞社(フジサンケイ ビジネスアイ)

協 賛:

塩ビ工業・環境協会	環境資源工学会	(一財)化学研究評価機構
化成品工業協会	骨材資源工学会	(一財)機械振興協会
合成ゴム工業会	(一社)産業環境管理協会	材料技術研究協会
(公社)産業安全技術協会	人工軽量骨材(ALA)協会	(一社)色材協会
(一社)資源・素材学会	石油化学工業協会	(一社)製剤機械技術学会
製粉協会	耐火物技術協会	石灰石鉱業協会
(一社)セメント協会	(一社)東京科学機器協会	タングステン・モリブデン工業会
(一社)電池工業会	日本エアロゾル学会	ナノ学会
(一社)ナノテクノロジービジネス推進協議会	(公社)日本空気清浄協会	(一社)日本化学工業協会
(一社)日本機械学会	(一社)日本建設機械施工協会	(一社)日本計量機器工業連合会
(公社)日本下水道協会	(一社)日本産業機械工業会	(一社)日本砕石協会
(公社)日本材料学会	(一社)日本食品工学会	(一社)日本試薬協会
(一社)日本食品機械工業会	日本製薬団体連合会	(公社)日本水道協会
日本製薬工業協会	(公社)日本セラミックス協会	日本石灰協会

日本石鹼洗剤工業会	(一社)日本塗料工業会	(一社)日本鉄鋼協会
(一社)日本電気計測器工業会	(一社)日本農業機械工業会	(一社)日本乳業協会
(一社)日本粘土学会	日本プラスチック工業連盟	日本肥料アンモニア協会
(一社)日本ファインセラミックス協会	(一社)日本包装機械工業会	日本フレキシブルコンテナ工業会
日本粉末冶金工業会	(一社)表面技術協会	日本無機薬品協会
日本薬科機器協会	(一社)粉体粉末冶金協会	

新型コロナウイルス感染症対策

全来場者へのマスク着用の徹底、接触機会を減らす事前登録セルフ受付の実施、展示会場入り口での手指消毒の励行およびサーモグラフィーによる体温測定、関係各所への消毒液設置、セミナー会場での座席間隔確保および定期的な消毒・清掃等

展示規模:152社・団体/457小間

来場者:5,060名(登録入場者数)

同時開催:

粉体工学会 秋期研究発表会

会期:11月17日(火)~18日(水)

11月18日(水)午後は技術セッションとシンポジウムを公開形式で行った。

併催企画:

粉工展見学ガイダンス(企画:(一社)日本粉体工業技術協会 人材育成委員会)

会期:11月18日(水)

参加者数:51名(委員除く)(内訳:学校11名、企業8名、オンライン参加(学生)32名、委員15名)

製品技術説明会

会期:11月18日(水)-11月20日(金)

会場:展示会場内 Aルーム・Bルーム

セッション数:31(各テーマ30分)

参加者:延べ596名

特別展示ゾーン 出展社プレゼンテーション

会期:11月18日(水)-11月20日(金)

会場:展示会場内 特設ゾーンステージ

参加者:延べ74名

アカデミックコーナー(プレゼンテーションとポスターセッション)

日時:11月19日(木)

10:00-12:00 プレゼンテーション

会場:南展示棟 2F 南会議室 B

13:00-13:15 表彰式

会場:展示会場内 特設ゾーンステージ

参加者:37名

◆優秀研究賞 大阪府立大学大学院 工学研究科 化学工学分野 大崎修司氏

◆研究奨励賞 法政大学 生命科学部 環境応用化学科 北村研太氏

広島大学 大学院先進理工系科学研究科 化学工学プログラム 深澤智典氏

動画放映

粉じん爆発動画(協力:粉じん爆発委員会)および粉体シミュレーション動画(協力:粉体シミュレーション技術利用分科会)の動画を特設ゾーンステージにおいて終日放映をした。

併催セミナー・フォーラム

セミナー

◆最新情報フォーラム

「粉体シミュレーション」

会期:11月18日(水)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:76名

「先端材料 ―社会が求めるハイブリッド・サイエンス―」

会期:11月19日(木)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:51名

「バイオ粒子プロセス－微粒子工学的視点から見た微生物の評価、利用、計測－」

会期:11月20日(金)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:47名

◆粉体工学入門セミナー

「粉体の加工技術」

会期:11月18日(水)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:75名

「液中の粉の性質」

会期:11月19日(木)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:82名

「粉の特徴と取り扱いの基礎」

会期:11月20日(金)

場所:展示会場内 第1会場

参加者:73名

◆粉体機器ガイダンス(機器選定の基礎)

「粉体ハンドリング」

会期:11月18日(水)

場所:展示会場内 第1会場

協力:粉体ハンドリング分科会

参加者:95名

「集じん」

会期:11月19日(木)

場所:展示会場内 第1会場

協力:集じん分科会

参加者:85名

「粉砕(湿式)」

会期:11月20日(金)

場所:展示会場内 第1会場

協力:粉砕分科会

参加者:89名

◆粒子径計測入門セミナー

会期:11月19日(木)

場所:南展示棟 2F 南会議室 A

参加者:67名

◆粉じん爆発情報セミナー

会期:11月19日(木)

場所:南展示棟 2F 南会議室 B

参加者:87名

◆海外情報セミナー「東南アジアへの企業進出サポートとその実績・経験談」

会期:11月20日(金)

場所:南展示棟 2F 南会議室 B

参加者:39名

◆ナノ粒子利用技術に関するセミナー「ナノ粒子の利用に求められる技術は何か？」

会期:11月20日(金)

場所:南展示棟 2F 南会議室 B

参加者:74名

5.1.2 オープニングセレモニー

会期:11月18日(水)

会場:東京ビッグサイト「国際粉体工業展東京2020」南展示棟1F展示ホール内

主催者挨拶(一社)日本粉体工業技術協会 代表理事会長 山田幸良

テーブルカット:全7名

5.1.3 技術相談コーナー

会期:11月18日(水)～11月20日(金)の3日間

相談件数:17件

5.1.4 公的研究機関コーナー

(国研)産業技術総合研究所、(国研)物質・材料研究機構、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構、(国研)宇宙航空研究開発機構、(国研)海洋研究開発機構、(一財)電力中央研究所による研究内容をパネルおよび実物で展示した。

また、特設ブースステージにおいて各研究機関のショートプレゼンを行なった。

5.1.5 主催者コーナー

・協会活動案内

日本粉体工業技術協会の案内や協会誌「粉体技術」の紹介をはじめ、各種資料の配布を行った。

・分科会コーナー

21分科会が近未来技術を中心にポスター展示を行った。

・標準粉体展示コーナー

粉じん(ダスト)、微粒子、粉体を対象として機器と部品の摩耗試験、耐久試験、防じん試験、気体・液体用浄化機器の性能試験、粉体・粉じん用測定機器の検定、校正などに使用される標準粉体の紹介を行った。

・会員企業一覧の掲示

・世界の粉体工業展パネルの掲示

5.1.6 インフォメーションカウンター

会場受付前にインフォメーションカウンターを設け、来訪者の問い合わせに対応した。

5.1.7 粉体技術総覧 2020/2021 の発刊

展示会と連動して隔年で発刊してきた「粉体技術総覧 2020/2021」を今回も来場者に無料で配布した。12,000部作成。(2020 東京展 7,000部配布、2021 大阪展 5,000部配布予定)。

5.1.8 WEB 版「粉体技術総覧 2020/2021」のリニューアル (<https://funtaisouran.com/>)

会期初日にWEB版「粉体技術総覧 2020/2021」のリニューアルを行った。

5.1.9 Wi-Fi ラウンジ

南1ホールにWi-Fi(公衆無線LAN)をご利用いただけるラウンジを設置した。

6. 常置委員会

6.1 総務委員会 (紅林哲夫委員長、六車嘉貢副委員長)

1.2020年度の事業実績概要

1-1.【協会広報活動の推進】

1) APPIEメールマガジンの発信を継続した。(2020年8月よりHTML版配信開始)

2) 協会ホームページの見直し・修正・メンテナンスを行った。

3) 「事業案内」を発行した。

4) 「会員名簿 2020年/2021年度版」を発行した。

5) 組織強化委員会と連携し、「広報改革」について議論。まずはメールマガジンをHTML形式に改善し配信先の更新を実施した。

1-2.【法人会員維持・増強の推進】

1) 協会活性化に向けた取り組みを討議、実施した。

・協会ホームページの改善(アクセス解析に基づく傾向分析の実施など)

2) 「国際粉体工業展東京2020」出展の非会員会社のブースを訪問して入会勧誘を行った。

3) 過去3年間の入退会リストを作成し、入会・退会理由を明らかにし会員増強と退会防止策について討議した。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.7.29	協会本部会議室 Web 会議	12	1. 2020 年度総務委員会事業計画確認 2. 協会事務局からの報告(メルマガ配信実態・HP アクセス数等) 3. コロナで実施を見送った新入会員オリエンテーションの来年実施について 4. 創立 50 周年記念事業 5. 協会メールマガジン改善 6. 協会 HP アクセス解析
2	2020.10.5	協会本部会議室 Web会議	14	1. 2020 年度総務委員会事業計画確認 2. 協会事務局からの報告(メルマガ配信実態・HP アクセス数等) 3. 創立 50 周年記念事業企画案 4. 広報改革(協会メールマガジンの改善) 5. 国際粉体工業展東京 2020 における非会員出展社入会勧誘
3	2020.12.11	協会本部会議室 Web 会議	13	1. 2020 年度総務委員会事業計画実施状況確認 2. 2021 年度事業計画、委員会日程 3. 協会事務局からの報告(メルマガ配信・HP アクセス数等) 4. 創立 50 周年記念事業について(企画書、総務委員会の作業など) 5. 広報改革について(協会メールマガジン改善、オンライン展示会) 6. 国際粉体工業展東京 2020 における非会員出展社入会勧誘結果

6.2 組織強化委員会 (山田幸良委員長、前田孝善副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

・教育部門の整備

2020 年度は、粉体エンジニア早期養成講座を粉体技術者養成講座に移行する期間として整備を進めた。

・海外企業の参画

定款を改定し、海外企業の協会入会をスタートした。

・協会が取り組む新技術

2021 年度の委員会新設(AI 技術利用委員会)にむけて、委員会名の名称検討、目的および方向性を確認し、正副委員長および委員の人選など発足準備を行ってきた。

・新入会オリエンテーション

2020 年度は、東京および大阪で計 2 回を予定していたが、中止となった。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.8.11	協会東京事務所 会議室/Web 会議	7	「AIにかかわる体制」ディスカッション
2	2021.1.26	同上	7	「AIにかかわる体制」ディスカッション

6.3 技術委員会 (牧野尚夫委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

1) 業務所掌:委員会、分科会に共通する技術的問題への対応

2) 現在、「技術委員会」の傘下に「技術用語検討委員会」、「ナノ粒子安全性検討委員会」および「ナノ粒子利用技術委員会」の 3 委員会がある。

3) 「ナノ粒子安全性検討委員会」は活動を中止し、本分野に関わる情報発信は「ナノ粒子利用技術委員会」で行った。

4) 「ナノ粒子利用技術委員会」は 2015 年度に設置され、粉体産業の将来を担うナノ関連技術を主な対象として活発に活動してきたが、2021 年度以降は、微粒子ナノテクノロジー分科会および粒子積層技術分科会に活動を引き継ぐ事とし、本委員会は発展的に解消する。

5) AI・IoT などのデジタル関連技術が急速に発展し、多くの産業プロセスへ導入が進んでいる状況の中、粉体

プロセスへの活用も今後さらに高度化して進むと考えられ、協会としてどのように取り組むのかについて検討を行うために「AI 技術委員会」設置の準備を進めた。

2. 実施した会合、会議
開催なし

6.3.1 技術用語検討委員会（牧野尚夫委員長）

1. 2020 年度の事業実績概要

2017 年度に刊行した新書版の「粉体用語ポケットブック」(初版 2,000 部、本体価格 1,800 円、総用語数約 1,400 語)の初版印刷部数 2,000 部のうち、協会購入分 1,300 部の販売促進のため、2019 年度から粉体入門セミナーの副読本として販売を開始した。値段は、協会での販売価格(会員本体価格 1,440 円、非会員は正規価格)とし、2019 年度は 65 冊を販売した。それに加えてオンラインショップから 19 冊を販売した。2020 年度は、入門セミナーがオンライン講義になった事なども影響したのか 32 冊の販売に止まり、オンラインショップでの販売も 7 冊であった。

6.3.2 ナノ粒子安全性検討委員会（明星敏彦委員長、遠藤茂寿、近藤郁各副委員長）

ナノ粒子利用技術委員会の中で活動をしてきたが、2020 年度で終了する。

6.3.3 ナノ粒子利用技術委員会（奥山喜久夫委員長、伊ヶ崎文和、福井武久各副委員長）

1. 2020 年度の事業実績概要

- 1) 委員会の活動状況:本技術委員会は、2015 年 4 月 1 日に設置され、活動を開始した。本技術委員会の方向は、「ナノサイズならではの機能、ナノ化の利点、それを実現する取り扱い・製造プロセスなど、ナノ粒子材料の利用についての技術的課題に関する情報を粉体技術業界へ提供し、会員の関連技術、装置の開発、商品化へとつなげていく」ことである。
- 2) 委員会の組織:技術委員会のメンバーは、企業関係委員、大学関係者さらに協力分科会委員で構成されている。会員数が 20 名以上と多いために、コアメンバーを決め、コアメンバーによる検討会を逐次開催し、委員会の活動および方向性などを議論してきた。
- 3) 活動状況:本年度は、本委員会を 2 回(2020 年 8 月 6 日および 2021 年 2 月 8 日)、コアメンバーによる検討会を 3 回(2020 年 6 月 11 日、8 月 6 日、11 月 20 日)、実施した。本委員会では、ナノ粒子材料に関連する企業関係者が、これまで経験したナノ粒子材料を含む部材・製品あるいは、ナノ粒子を含むハンドリング操作に関連して、可能な限り情報をオープンにし、各種の課題を克服する方向性を明確にし、課題を絞り、関連する話題提供を行い、議論を進めた。なお、海外および国内の大学でのナノ粒子・微粒子研究の紹介も行われた。さらに、ナノ粒子・粉体プロセス技術における IoT および AI の導入状況および課題を、委員会での講演を通して調査した。
- 4) 第1回本委員会では、Web 会議を導入し、「AI・IoT の粉体プロセスへの導入の現状と課題」について、京都大学大学院工学研究科の外輪健一郎教授、スペクトリス(株)の池田英幸氏、(株)構造計画研究所の島田憲成氏、滝勇太氏が講演を行った。第2回本委員会は、2021 年 2 月 8 日の開催をもって、ナノ粒子利用技術委員会の活動を総括し、終了した。

なお、本委員会の委員が中心となり、国際粉体工業展東京2020において、ナノ粒子利用技術に関するセミナーを「ナノ粒子の利用に求められる技術は何か?」というサブタイトルで開催し、満席となり、盛況であった。

2.実施した会合、会議

(ナノ粒子利用技術委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.8.6	協会本部会議室・Web 会議	28	「AI・IoT の粉体プロセスへの導入の現状と課題」に関する講演 3 件と今後の委員会活動
2	2021.2.8	協会本部会議室・Web 会議	29	「ナノ粒子利用技術委員会の活動の総括」に関する講演、アンケート調査の結果の整理

(コアメンバー検討会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.11	協会本部会議室・Web 会議	11	・前回議事録の確認 ・第 1 回本委員会の企画 ・委員へのアンケートによる整理
2	2020.8.6	協会本部会議室・Web 会議	11	・前回議事録の確認 ・第2回本委員会の企画 ・分散および分級技術
3	2020.11.20	東京ビックサイト・Web 会議	11	・前回議事録の確認 ・第2回本委員会の企画

				・AI 技術利用委員会について
--	--	--	--	-----------------

6.4 「粉体技術」編集委員会 (内藤牧男委員長、加納純也、根本源太郎各副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

粉体関連産業の総合情報月刊誌「粉体技術」を発行した。各号の特集内容は以下の通り。

月号	特集内容	月号	特集内容
4月号	協会を支える分科会活動	10月号	変わりゆく製鉄資源と変わり続ける製鉄プロセス
5月号	日ごろ目にしないセラミック製品と製造プロセス	11月号	SDGs 達成への貢献を目指す過集じん技術の新展開
6月号	粉体塗装(魅せる粉)	12月号	農林水産業に関わる粉体関連技術
7月号	プラスチックごみ海洋汚染	1月号	粉体の付着と摩耗に関する最新情報
8月号	多様化するスラリーハンドリングの新展開	2月号	連続生産装置における監視・計測の今
9月号	燃やす粉・消す粉	3月号	国際粉体工業展東京 2020 を終えて

2. 実施した会合、会議 (2020.6.6 以降、協会本部での会議に加え、オンライン参加を取り入れて実施した)

回	月・日	人数	議題
1	2020.4.8 メルパルク 京都	3	「粉体技術」正副委員長会議 1. 「粉体技術」編集委員会に関わる各種規則・体制等の確認 2. 「粉体技術」誌の事務的内容の把握 3. 2020 年度の編集委員会の具体的日程 4. 2020 年度第 1 回「粉体技術」編集委員会に向けた準備
2	2020.6.6	20	第 1 回委員会 [報告事項] 1. 正副委員長挨拶、各委員の自己紹介 2. 編集委員会運営に関する規程類などの確認 3. 前回議事録の確認 4. 2020 年 7～12 月号の状況 5. 一般記事・先達の言葉・現場ルポ・研究室紹介・海外情報の進捗状況 [審議事項] 1. 2021 年 1 月号～2022 年 2 月号の特集号の趣意書・進捗状況の検討、50 周年記念号 2. 2021 年 3 月号の粉体工業展「展示ブース見て歩き」の編集方針の件 / 粉体工業展中止時の企画 3. 編集委員交代に伴う編集担当委員変更の件 4. デジタルメディア化検討ワーキング発足の件 5. 小委員会の出席者の件 6. 特集記事依頼時に執筆者に送付する記事見本の見直し [自由討論] 1. 既刊号の反省(2020 年 4・5・6 月号) 2. 今後の「粉体技術」誌の特集号の企画 [連絡事項] 1. 2020 年度第 2・3・4 回編集委員会開催予定
3	2020.9.12	20	第 2 回委員会 [報告事項] 1. 前回議事録の確認 2. 2020 年 10～2021 年 2 月号の状況 3. 一般記事・先達の言葉・現場ルポ・研究室紹介・海外情報・入門講座依頼原稿・新連載コラムの進捗状況 4. デジタルメディア化検討ワーキング活動報告 5. 粉体技術誌編集委員会と粉体工学会誌との情報交換会 6. 北斗プリント社から大光社への業務移管 [審議事項] 1. 2021 年 5 月号～2022 年 3 月号の特集号の趣意書・進捗状況の検討、並びに担当委員の決定 2. 2021 年 11 月号の協会 50 周年特集号の進め方

			<p>3.「粉砕分科会」特集企画素案 4.今後の「粉体技術」誌の特集号のリスク対応 5.特別対談記事の件 6.特集記事依頼時に執筆者に送付する記事見本の見直し 7.編集委員追加の件 8.来年の粉体技術誌の表紙決定の件 9.2022年7月号以降の特集号の起案</p> <p>[自由討論] 1.既刊号の反省(2020年7・8・9月号)</p> <p>[連絡事項] 1.2020年度第3・4回編集委員会開催予定</p>
4	2020.10.28	6	<p>学協会編集委員会正副委員長懇談会</p> <p>1.本懇談会目的の確認 2.両誌の運営に関する紹介 3.両誌の今後の企画などの紹介 4.意見交換 5.次回委員会</p>
5	2020.12.12	22	<p>第3回委員会</p> <p>【1部】 [審議事項] 1.2022年5月号以降の特集企画</p> <p>【2部】 [報告事項] 1.前回議事録の確認 2.2021年2月号～9月号の状況 3.一般記事・先達の言葉・現場ルポ・研究室紹介・海外情報・入門講座・新連載コラムの進捗状況 4.デジタルメディア化検討ワーキング活動報告 5.粉体技術誌編集委員会と粉体工学会誌との情報交換会</p> <p>[審議事項] 1.2021年10月号～2022年12月号の特集号の趣意書・進捗状況の検討、ならびに担当委員の決定 2.2021年11月号協会50周年特集号 3.今後の入門講座の位置づけ・計画</p> <p>[自由討論] 1.既刊号の反省(2020年10・11・12月号) 2.その他(行事開催案内の掲載可否についてなど)</p> <p>[連絡事項] 1.2020年度第4回編集委員会開催予定</p>
6	2021.3.13	22	<p>第4回委員会</p> <p>[報告事項] 1.前回議事録の確認 2.委員会・部門連絡会議の報告 3.2021年5月号～10月号の状況 4.一般記事・先達の言葉・現場ルポ・研究室紹介・海外情報・入門講座・連載コラムの進捗状況</p> <p>[審議事項] 1.2021年11月号協会50周年特集号について 2.2021年12月号～2022年9月号の特集号の趣意書・進捗状況の検討、ならびに担当委員の決定 3.2022年10月号以降の特集企画について 4.デジタルメディア化ワーキンググループの活動報告と今後の方針について(著作権の扱いを含む) 5.新入門講座の企画案について 6.ナノ粒子利用技術委員会活動報告の掲載について 7.その他</p>

			[自由討論] 1.既刊号の反省(2021年1・2・3月号) [連絡事項] 1.2021年度編集委員会開催予定について
--	--	--	---

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.4.13	協会本部会議室	6	1.2020年5月号原稿の確認 2.特集担当委員の小委員会への参加 3.新型コロナウイルス拡大防止への小委員会の対応
2	2020.5.11	協会本部会議室	6	1.2020年6月号原稿の確認 2.2.今後の新型コロナウイルス拡大防止への小委員会の対応
3	2020.6.15	協会本部会議室	7	1.2020年7月号原稿の確認 2.今後の新型コロナウイルス拡大防止への小委員会の対応
4	2020.7.9	協会本部会議室	7	1.2020年8月号原稿の確認 2.2020年8月号「企画して」記事の署名
5	2020.8.7	協会本部会議室・ Web会議	7	1.2020年9月号原稿の確認
6	2020.9.9	協会本部会議室・ Web会議	8	1.2020年10月号原稿の確認 2.「企画して」の内容について
7	2020.10.6	協会本部会議室・ Web会議	8	1.2020年11月号原稿の確認 2.外来語の表記について
8	2020.11.9	協会本部会議室・ Web会議	7	1.2020年12月号原稿の確認 2.次回以降の小委員会日程
9	2020.12.8	協会本部会議室・ Web会議	7	1.2021年1月号原稿の確認 2.次回以降の小委員会日程
10	2021.1.12	協会本部会議室・ Web会議	5	1.2021年2月号原稿の確認 2.単位と数字の間へのスペースの挿入について 3.平均粒子径の表記 D50 x50 ともに使用可能 4.緊急事態宣言が京都にも発令された場合の小委員会
11	2021.2.9	協会本部会議室・ Web会議	8	1.2021年3月号原稿の確認 2.執筆要領改訂案の確認 3.2021年度小委員会日程確認
12	2021.3.9	協会本部会議室	6	1.2021年4月号原稿の確認 2.2021年度小委員会日程確認

6.5 推薦審査委員会(加藤文雄委員長、牧野尚夫副委員長)

1. 2020年度の事業実績概要

- ・年3回の会合で、各賞の表彰規定に則り、審査業務を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定時総会時での表彰式(協会賞、粉工展賞、粉体工業功績者賞)が延期となったが、秋期定例会合に於いて無事執り行われた。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.10.16	協会本部会議室	8	1. 前回議事録の確認 2. 分科会功労賞および委員会・部門功労賞選考
2	2021.2.17	名古屋/名鉄グラ ンドホテル	8	1. 個人会員候補者の選考 2. 会友候補者の選考 3. 個人会員の名誉個人会員への移行 4. その他
3	2021.2.17	名古屋/名鉄グラ ンドホテル	8	1. 協会賞候補者の選考審査 2. 粉体工業展賞候補者の選考審査 3. 粉体工業功績者候補の選考審査 4. その他

(小委員会) 開催なし

6.6 粉体工業展委員会(山田幸良委員長、村田博、三宅康雄各副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

- 1) 国際粉体工業展東京2020開催(詳細は、東京粉体工業展委員会より報告あり)
・開催日時:2020年11月18日(水)~20日(金)9:30-17:00
- 2) ハイブリッド型(リアル&オンライン)展示会の検討
新型コロナウイルスの影響によりオンライン展示会のニーズが高まる中、粉体工業展においてリアルとオンラインのハイブリッド型展示会が可能であるか否かに関して検討を行った。また、本年開催予定の国際粉体工業展大阪2021に向けてハイブリッド型展示会の実行案を作成し議論した。
- 3) FOOMA JAPAN 2020
毎年、FOOMAと粉体工業展でブース交換を行っているが、FOOMA JAPAN 2020は新型コロナウイルスの影響により中止となり、出展できなかった。なお、FOOMAは粉体工業展にブースを設置した。
- 4) プラントショーOSAKAと大阪粉体工業展のブース交換
すでに INCHEM TOKYO と東京粉工展ではブース交換を行っているが、あらたにプラントショーOSAKA と大阪粉体工業展のブース交換について同じ主催者である日本能率協会から提案があった。これを受け、国際粉体工業展大阪2021とプラントショーOSAKA2022でブース交換を行うこととした。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.3	協会東京事務所/ Web 会議	8	1. 国際粉体工業展東京 2020 の開催可否および関連対応
2	2020.11.4	協会本部・東京事務所/ Web会議	14	1. 粉体工業展 Web 展示を取り込むことの可否と手法 2. APT2021 の最新状況
3	2020.12.10	ANA クラウンプラザ ホテル大阪/Web 会議	14	1.「ハイブリッド型展示会についての議論(ワーキンググループでの検討内容を踏まえて)」
4	2020.3.3	協会本部・東京事務所/ Web 会議	11	1. 「JAPAN PACK2022」「国際粉体工業展東京2022」展示ブース交換について 2. 「INCHEM TOKYO2021」「国際粉体工業展東京2022」展示ブース交換について 3. ホールディングカンパニー、子会社などの小間出展料の扱い
5	2020.3.1	ANA クラウンプラザ ホテル大阪/Web 会議	14	1. オンライン展示会について

(ハイブリッド型展示会ワーキンググループ会議)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.11.25	協会東京事務所 会議室	6	1. 国際大阪粉体工業展2021に向けたリアル&オンライン(ハイブリッド型)展示会の実行案検討

6.6.1 東京粉体工業展委員会 (村田博委員長、大川原正明、楨野利光各副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

◇コロナ禍の状況での開催ではあったが、国際粉体工業展東京2020(第23回)を盛会裏に終了することが出来た。実績概要は以下の通り。【 】内は前回2018実績

開催日時:2020年11月18日(水)~11月20日(金)9:30-17:00

会 場:東京ビッグサイト 南ホール

出展社数:152社・団体【299】

内訳 会員70【136】、一般72【151】、団体10【12】

出展小間数:457小間【1,109】

内訳 会員202【661】、一般113【243】、主催者関連142【205】

来場者数:5,060名【17,966名】

内訳 18日1,974名、19日1,566名、20日1,520名

2.実施した会合、会議

(東京粉体工業展委員会) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(5)	2020.5.18	Web 会議	23	1. 新型コロナウイルス関連対応 2. 出展状況報告 3. 併催行事 進行スケジュール 4. 併催行事企画他 進捗 5. 「公的研究機関コーナー」 6. その他

2(6)	2020.7.6	Web 会議	28	1. コロナウイルス感染症の対応と対策 2. 出展状況報告 3. 広報活動計画 4. 併催行事企画 5. その他企画 6. その他
3(7)	2020.9.15	Web 会議	29	1. コロナウイルス感染症の対応と対策 2. 出展状況報告と会場レイアウト案 3. 広報活動計画 4. 併催行事企画 5. その他企画 6. その他
4(8)	2020.10.29	Web 会議	26	1. 広報の状況 2. 開催規模とレイアウト 3. 協会ブース、特設ステージ、パネル展示、特別展示ゾーン、団体コーナー、他進捗 4. 催行事企画 進捗・役割分担 5. 各種アンケート確認 6. その他
5(9)	2021.2.9	Web 会議	34	合同反省会 1.結果報告／各種アンケート報告 2.併催行事小委員会コメント・意見交換 3.広報(出展・来場促進)小委員会コメント・意見交換 4.会場運営実行委員会コメント・意見交換 5.学会関係コメント 6.粉体技術総覧小委員会コメント・意見交換 7.収支報告 8.協会事務局コメント 9.協会幹部コメント 10.今回の反省および今後の課題について討論

* 会合以外にも随時各委員にメールでの確認実施

(正副委員長会議) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(5)	2020.5.8	協会東京事務所	5	第1回 本会議議題について
2(6)	2020.7.1	協会東京事務所	7	第2回 同上
3(7)	2020.9.8	協会東京事務所	7	第3回 同上
4(8)	2020.10.19	協会東京事務所	7	第4回 同上
5(9)	2021.1.29	協会東京事務所	7	第5回 同上

(広報出展) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(4)	2020.7.29	Web 会議	14	出展状況報告、コロナ感染症対策、広報活動

(粉体技術総覧) 括弧内の数値は前年度からの通算開催回数

回	月・日	場所	人数	議題
1(5)	2020.5.18	東京/種苗会館6階会議室	13	粉体技術総覧の発行とWEBについて
2(6)	2020.7.29	Web 会議	13	表紙のデザイン、掲載依頼、掲載内容、粉体研究者一覧募集
3(7)	2020.9.16	東京/種苗会館6階会議室	11	掲載内容の確認、出稿記事分類の確認

6.6.2 大阪粉体工業展委員会(三宅康雄委員長、高倉正紀、花川忠己各副委員長)

1. 2020年度の事業実績概要

国際粉体工業展大阪2021開催に向けて、委員会活動を開始した。

◎委員会構成:

本委員会…委員長:三宅康雄、副委員長:高倉正紀、花川忠己

会計監査:海老原裕之、アドバイザー:菅原一博

委員:16名、事務局 3名、

展示会事務局 3名(CNT)

小委員会…(出展促進)主査:花川忠己、(会場運営)主査:高倉正紀、

(併催行事企画)主査:後藤邦彰、(広報)主査:増田泰久

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.9.16	協会本部会議室 Web 会議	20	1.委員会の構成、役割分担 2.コロナウイルス感染症による産業見本市開催状況 3.インテックス大阪予約状況 4.APT2021 との連携 5.展示会名称 6.ハイブリッド展示会 7.開催要項およびデザイン案 8.併催イベント 9.今後のスケジュール 10.海外対応
2	2021.3.30	協会本部会議室 Web 会議	24	1.展示会開催概要報告 開催要項・申込書・封筒 2.開催要項送付先、出展アンケート状況 3.コロナ対策、会場構成 4.併催行事企画小委員会からの報告 5.バータ・交換ブースについて

(併催行事企画小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2021.3.30	協会本部会議室 Web 会議	15	1.会場予約状況、スケジュールについて 2.テーマ、依頼先の検討 3.開催までのスケジュール 4.オンライン展でのオンデマンド配信、資料配布について

※新型コロナウイルスの影響で、本委員会を2回しか開催できなかった。(通常3回開催)

6.7 分科会運営委員会 (奥山喜久夫委員長、浅井信義、鈴木康夫各副委員長)

1. 2020年度の事業実績概要

・本年度より、バイオ粒子プロセス分科会が立ち上がり、活動を開始し、分科会の総数は、現在 21 分科会である。分科会の企画および活動は、粉技協の企業会員および個人会員の交流の場、未入会企業の入会に繋がる場として大変重要なため、持続的に運営されるように、サポートを行った。

・4月に新型コロナウイルス感染症流行による緊急事態宣言が発せられて、通常の形態での分科会の本会議の開催が困難となり、ほとんど延期された。この状況を克服するために、新型コロナウイルス感染症流行下における分科会の活動について、「オンサイト開催」と「Web セミナー開催」の進め方のガイドラインが事務局で作成され、ほとんどの分科会で、いずれかの形式で分科会が開催された。オンサイト開催では、環境エネルギー・流動化分科会が体温の計測などの感染症対策を施しながら、計3回の分科会を安全に実施した。

・拡大分科会運営委員会の準備および実施、分科会活動の現状と課題の検討、特に新型コロナウイルス感染症の流行下での分科会活動が進められるように議論を進めた。

・分科会運営相談会などを通して、分科会の組織および運営を確認し、必要に応じてサポートした。

・2021年1月開催の分科会連絡会議での課題整理と2021年度の事業計画を策定した。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.7.2	協会本部会議室 Web 会議	8	・前回議事録の確認 ・2020年度の方針と事業計画 ・拡大分科会運営委員会および分科会運営相談会の準備
2	2020.8.21 拡大分科会 運営委員会・分科会 運営相談会	メルパルク京都 Web会議	40	・事務局からの分科会への依頼 ・粉体技術者養成講座の説明 ・2020年度の分科会本会議の実施見直し ・分科会活動の現状と課題についての相談(5分科会)
3	2020.11.18	東京ビックサイト	7	・分科会運営相談会と拡大分科会運営委員会にて提起

				された問題点の整理と検討 ・分科会連絡会議の次第と役割分担 ・分科会 Web セミナーの開催
4	2021.3.25	協会本部会議室	7	・分科会連絡会議での課題整理と 2020 年度の事業報告、2021 年度計画

(小委員会) なし

6.8 海外交流委員会 (浅井信義委員長、横山豊和、田辺大二各副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

委員メンバーの交代があった(14 名+オブザーバー1 名)。5 月に正副委員長会議を開催し、コロナウイルス感染拡大下における海外展示会への対応や海外情報セミナー開催について議論し、委員各位とは本委員会開催の代わりにメール審議とした。

1) KOREA CHEM 2020(韓国)(初参加):7/27(月)ー30(木)ソウル近郊 KINTEX にて開催

当初 4/14-17 開催の予定であったが、コロナウイルス感染拡大により上記日程に変更となった。主催者の Kyungyon Exhibition とは、今回初の相互協力契約締結であり、契約を基に展示会カタログや HP に POWTEX の広告やバナー掲載のほか、交換ブースにポスター2 種(POWTEX 紹介と入会促進)を展示した。出入国制限があったためブースでの対応は行わなかった。

・出展社数:581 社、2,000 小間(包装、製薬、化粧品などの同時開催展含む)(前回 2019 年:854 社、2,279 小間)

・来場者数:29,155 人(同時開催展含む)(前回 2019 年:38,130 人)

2) IPB 2020(中国):7/29(水)ー31(金)上海にて開催

当初の予定通りの日程で開催された。例年通り Japanese Pavilion(交換ブースと共同展示ブース)を出展し、8 社(会員企業)の参加があった(うち初参加 1 社)。コロナウイルス感染拡大で出入国制限があったため、日本からのブース対応は行わなかったが、交換ブースにポスター2 種(POWTEX 紹介と入会促進)を展示した。参加企業のうち 4 社の現地法人/代理店がブースに参加し、ポスターのほか、商品サンプルなども展示した。例年参加の現地代理店 1 社にブースの運営管理をお願いした。

・出展社数:109 社(前回 2019 年:177 社) ・来場者数:8,867 人(前回 2019 年:11,366 人)

3) iPBS 2020(米国):シカゴ

当初 4/28-30 の開催予定であったが、10/6-8 に延期したものの開催できず、最終的に 2021 年 4/27-29 まで延期となった。しかし、2020 年 10/1 にオンラインイベント第 1 弾を開催し、第 2 弾は 2021 年 2/10 開催予定である。

4) POWTECH(ドイツ):ニュルンベルク

2020 年 9/29-10/1 の開催予定であったがコロナウイルス感染拡大で中止となった。次回開催は 2022 年 4/26-28 の予定であったが、更に 2022 年 8/30-9/1 に延期となった。現在は約 1 ヶ月ごとに無料ウェビナーを開催し、オンラインマガジンを HP 上に掲載して出展社や製品情報を紹介している。

5) Annual Report を作成して、HP に掲載し、協会活動の実績を海外へ配信した(8 月、約 1,100 件配信)。

6) 第 10 回海外情報セミナー(11/20 国際粉体工業展東京 2020 の併催行事として開催)

当初予定していた海外からの講師派遣がコロナウイルス感染拡大で無くなったため、時間を短縮して 2 名の講師で行った。参加者 39 名。

①JETRO 海外調査部国際経済課 朝倉啓介氏による「新型コロナウイルス感染症拡大の世界経済への影響とジェトロの活用方法」

②新東インドネシア社社長 丹羽慎吾氏による「アジア四か国に駐在して」

2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.05.27	Web 会議	6	1. 2020 年度海外展示会への対応 2. 海外情報セミナー開催

6.9 人材育成委員会 (荻田容宏委員長、榎野利光副委員長、菅原尚也副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

1)若手のつどいを委員会開催日に合わせて 4 回計画したが、新型コロナの感染拡大により、第 3 回までをすべて中止、残りの 1 回(3 月予定)はオンラインで実施の予定。

2)国際粉体工業展東京 2020 「粉工展見学ガイド」の企画実施(2020 年 11 月 18 日(水))。新型コロナ感染防止対策として、従来の学生ツアー・交流会の内容を変更して実施した。

・工学院大学教授・山田昌治氏による講演「粉体技術者になろう」

・出展企業 7 社による「展示機器の見どころ例」の講演

・新型コロナ感染拡大により、現地参加ができない学生のために、当企画をオンライン配信した。

参加者(講師および委員・委員補助者除く)

2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.18	Web 会議	13	(1) 前回議事録の確認 (2) 次回委員会、若手のつどい等検討 (3) 東京粉体工業展「学生ツアー」(後に、今年度は「粉工展見学ガイド」に変更;新型コロナ感染防止策)
2	2020.8.18	Web 会議	17	(1) 前回議事録の確認 (2) 次回委員会、若手のつどい等計画 (3) 東京粉体工業展「粉工展見学ガイド」に関して未決定事項の確認
	2020.11.18	国際粉体工業展東京 2020 会場	51 + 委員 15	「粉工展見学ガイド」 ・講演:合計 8 件 ・現地参加できない学生にオンライン放映
3	2020.12.8	Web 会議	17	(1) 前回議事録の確認 (2) 粉工展見学ガイドの総括 (3) 次回(3 月)の「若手のつどい」について、開催可否・内容・講師など 次年度の計画(基本方針)
4	2021.3.23	Web 会議	18	(1) 前回議事録の確認 (2) 次年度計画など 「若手のつどい」オンラインセミナー

(正副委員長会議:委員会議案内容の準備議論など)

- ・第 1 回正副委員長会議(2020.7.2、東京事務所+Web 会議)
- ・第 2 回正副委員長会議(2020.7.29、東京事務所+Web 会議)
- ・第 3 回正副委員長会議(2020.11.2、東京事務所+Web 会議)

6.10 標準粉体委員会 (森康維委員長、後藤邦彰副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

- ・JIS 試験用粉体 1 (JIS Z 8901)の粒子径分布測定器の更新
2020 年 10 月、協会がホソカワミクロン(株)と後継機開発の契約を締結(2021 年度末完了予定)。第 2 回委員会(2021 年 2 月開催予定)で、JIS1-8 種(関東ルーム)について収集した基礎データを検討する予定である。
- ・SAP 試験用粉体 3 の JIS 規格化の予備検討
極微小粒子径領域を対象とする試験に用いる試験用粉体「けい砂、タルク、焼成関東ルーム、重炭酸カルシウム」のレーザ回折散乱法による JIS 規格化を進める。2019 年度に国内メーカー 8 社によるラウンドロビンテストを実施した。2020 年度は各社のラウンドロビンテスト結果を検討し、新たに粒子屈折率(実部、虚部)を指定して各社で粒子径分布を再計算し、各社の測定器の違いによる屈折率の影響を検討した。来年度も継続する。
- ・JIS 試験用粉体 2(JIS Z 8901)「ガラスビーズ」
JIS 試験用粉体 2 ガラスビーズの製造元であるユニチカ(株)が 2019 年度末で生産を中止し、今後は原料のみを納入することになった。そのため、(株)徳寿工作所に依頼し、篩による原料の分級操作で粒子径分布の調整と異形粒子除去処理を行い、GBL100、GBL-60、GBL-40 の試作品を製作した。試作品をモフォロギ 4(静的画像解析)で粒子径分布と形状の測定を実施し、生産を継続できるかを検討した。来年度も継続する。

2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.10.9	WEB 会議 協会本部会議室	19	1. JIS 試験用粉体 1 の粒子径分布測定法 島津型沈降天秤の後継機の開発状況 2. SAP14-12 「SAP 試験用粉体 3」の JIS 規格化 レーザ回折散乱法による粒子径分布測定結果の検討 3. JIS 試験用粉体 2 の開発状況 ガラスビーズの分級条件とその粒子径分布、形状 4. JIS Z 8900-1 「標準粒子」の Web 記載事項の変更
2	2021.3.18	WEB 会議 協会本部会議室	17	上記 1.2.3.項と同じ

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.25	WEB会議 協会本部会議室	10	1. JIS 試験用粉体 2 ガラスビーズのモフォロギ 4 による測定 2. SAP 試験用粉体 3 のレーザー回折散乱法による各社測定結果

6.11 規格委員会 (松山達委員長、高橋かより副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

1-1 JIS 規格の作成・見直し

1) JIS 原案作成

2 件の JIS 原案作成委員会を 8 月より開始し、2021 年 4 月に原案を作成し日本規格協会へ提出予定。

① Z 8801-2:2000 試験用ふるい—第 2 部:金属製板ふるいの改正(委員長:松山)

② Z 8825 レーザ回折・散乱法の改正(委員長:松山)

2) JIS の定期見直し

① Z 8817:2002「可燃性粉じんの爆発圧力および圧力上昇速度の測定方法」→暫定確認

② Z 8818:2002「可燃性粉じんの爆発下限濃度測定方法」→暫定確認

③ Z 8820-1:2002「液相重力沈降法による粒子径分布測定方法—第 1 部:測定的一般原理および指針」→確認

④ Z 8833:2011「粒子特性を評価するための粉体材料の縮分」→改正

⑤ Z 8890:2017「粉体の粒子特性評価—用語」→暫定確認

⑥ Z 8910:2007「集じん用ろ布の試験方法—ろ布耐久性測定用のサンプリング方法および試験方法」→確認

3) 作成・発行済み

2019 年度作成の下記 2 件の原案は、2021 年 3 月 22 日に制定、発行された。

① Z 8829:粒子径解析—粒子軌跡解析(PTA)法(制定)

② Z 8845:遠心法による粒子付着力測定方法(制定)

1-2 協会規格の作成・見直し

1)原案作成無し

2)下記 2 つの協会規格について造粒分科会に見直しを依頼し以下の回答を得た。

「SAP 01-79:造粒物のかさ密度測定方法」→確認

「SAP 02-82:造粒物の見掛け密度測定方法」→廃止

1-3 規格・標準化事業の成果の普及・広報

1)「粉体技術」誌上での事業・規格の紹介

・ 2 月号に JIS Z 8819-2:2019(粒子径測定結果の表現—第 2 部:粒子径分布からの平均粒子径およびモーメントの計算)の紹介記事を掲載。

1)初心者セミナー「粒子径計測入門セミナー」を国際粉体工業展東京にて開催。参加者 67 名。

2)標準化セミナー

・ 4 月に第 3 回開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により無期延期とした。

1-4 JIS 法(産業標準化法)の改正に伴い、協会の JIS 指針の改正を理事会に申請し、第 3 回理事会にて承認済

1-5 規格関連委員会の動向把握

関連する ISO(TC24、TC24/SC4 および SC8、TC142/WG5 および WG7、TC229、TC261、TC281)ならびに薬局方の動向について、参加している委員から報告を受け、状況の把握を行った。また、標準粉体委員会における情報(特に JIS 原案作成に関する)も把握した。

2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.05.11	Web 会議	10	1.規格類(SAP、JIS、ISO)の確認 2.JIS 見直しおよび原案作成 3.規格関連委員会の動向
2	2020.12.08	Web会議	12	1.規格類(SAP、JIS、ISO)の確認 2.JIS 見直しおよび原案作成 3.規格・標準化に関する広報 4.標準化セミナー 5.規格関連委員会の動向

6.11.1 粒子特性評価委員会 (桜井博委員長、伊串達夫副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

本委員会は、ISO/TC 24/SC 4(粒子特性評価委員会)のる粉体・粒子測定に関する ISO 国際標準化活動に参加

し、適正な規格文書が迅速に作成されるよう活動を行っている。

規格文書の作成、新たな規格の提案、承認投票、定期見直し等の作業と、2回の国際会議に Web にて参加し、文書案の審議を行った。また、2回の委員会を開催し、規格作成や国際会議での審議の方針について検討を行った。

1)ISO/TC 24/SC 4 第 58 回国際会議 (2020 年 3 月 24～27 日、Web 会議)規格審議

- 参加者:議長(ドイツ)、副議長(日本・松山氏)、国際幹事(イギリス)の他、7 カ国から計 38 名、合計 41 名。当委員会からは 14 名が参加。
- 14 の WG 会合が開催され、ISO 規格案の審議 7 件の Resolution が採択された。

2)ISO/TC 24/SC 4 第 59 回国際会議(2020 年 9 月 29 日～10 月 2 日、Web 会議)の規格審議

- 参加者:議長(ドイツ)、副議長(日本・松山氏)、国際幹事(イギリス)を含め、7 カ国 2 組織から合計 48 名。当委員会からは 12 名が参加。
- 14 の WG 会合が開催され、ISO 規格案の審議を行い 21 件の Resolution が採択された。

3)各審議段階での投票、規格発行、定期見直し、新規提案の件数(2020 年 1 月～12 月)

- 新規提案(NP)3件、照会段階(DIS)2件、承認段階(FDIS)2件、定期見直し(SR)7件、SC 内投票(CIB)3件に対して投票を行った。
- 5 つの ISO 規格が発行・改定された。

4)規格委員会主催の標準化セミナー

新型コロナ禍の影響で延期になった。

5)産業標準化事業表彰

- 経済産業大臣表彰 森氏(同志社大学)
- 産業技術環境局長表彰 水上氏(リオン株式会社)

6)その他

- 桜井博委員長は、引き続き 2 年間延長する。(2020 年 4 月～2022 年 3 月まで)

実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.24	Web 会議	44	1. 本年度の体制と方針 2. 第 58 回 ISO/TC 24/SC 4 WEB 会議報告 3. 第 59 回 ISO/TC 24/SC 4 WEB 会議への対応 4. 規格委員会、他 TC 報告
2	2020.12.16	Web 会議	38	1. 第 59 回 ISO/TC 24/SC 4 WEB 会議報告 2. 第 60 回 ISO/TC 24/SC 4 会議(ドイツ)への対応 3. 2021 年秋 ISO 会議大阪開催

(WG 5)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.24	Web 会議	3	1. WG 5 国内委員長と 13319-3 エキスパートの選任

(WG 12)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.24	Web 会議	8	ISO27891 CPC 校正の改定 1. 新規内容の提案 2. 今後の進め方
2	2020.12.16	Web 会議	6	1.ISO27891 CPC 校正の改定 2.ISO 会議(9.30-10.1)状況報告

6.11.2 ふるい委員会 (松山達委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

・活動実績

SC8 会議(2020 年 10 月, Web)に出席。

2021 年 3 月に委員会を開催

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2021.3.26	Web 会議	12	1.SC8 会議(Web)報告 2.その他

6.11.3 集じん技術委員会 (福井国博委員長、森下あや子副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

(1)WG-B (TC142/WG7 に対応)

ISO/PWI 23742(Test method for the evaluation of permeability and filtration efficiency distribution

of bag filter medium): NP 投票用規格原案が完成し、国内委員および各国エキスパートに回覧・意見聴取を行った。その内容を反映させ、NP 投票用規格最終原案を完成させた。

ISO 22031 (Sampling and test method for cleanable filter media taken from filters of systems in operation): FDIS 最終修正案を作成・提出し、9月に FDIS 登録した。10月からの FDIS 投票の結果、12月に IS の発行段階(60.00)に達し、2月に、IS が発行 (60.60)された。

(2)WG-C (TC142/WG5 に対応)

ISO/PWI 16313-2 (Laboratory test of dust collection systems utilizing porous filter media online cleaned using pulses of compressed gas -- Part 2: Systems utilizing integrated fans): 昨年、新規プロジェクトの投票で承認されなかった。欧米のエキスパート等からの意見を踏まえ作成した新規格修正案および日本の提案内容を反対国を含む全エキスパートに送付し、コメントを依頼した。得られたコメントを踏まえた修正案を WG5 Meeting で検討した。

2.実施した会合、会議

(委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.22	Web 会議	17	1. 本年度方針 2. 今後の予定
2	2020.10.7	Web 会議	18	1. コンベナーミーティング概要 2. 中国エキスパートとのオンライン会議概要 3. 今後の予定について
3	2020.2.5	Web 会議	17	1. ISO/TC 142 Web 会議報告 (WG-B、WG-C、Plenary Meeting) 2. WG-B 今年度の活動進捗状況報告と今後の活動 3. WG-C 今年度の活動進捗状況報告と今後の活動 4. 連絡事項、今後の予定について

なお、2020/7/20 に正副委員長会議を実施し、今年度支出計画の見直し、Convenors meeting (2020年7月1日実施)の概要、ISO 22031 FDIS 原案修正、ISO 16313-2 今後の対応および ISO 23742 規格骨子案について議論した。

(WG-B)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.22	Web 会議	17	1. ISO/DIS 22031 登録原案について 2. ISO/PWI 23742 について
2	2020.10.7	Web 会議	18	1. ISO/PWI 22031 について 2. ISO/PWI 23742 について
3	2020.2.5	Web 会議	17	1. ISO/PWI 22031 について 2. ISO/PWI 23742 について

(WG-C)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.22	Web 会議	17	1. 2019 年度実施結果 ISO/PWI 16313-2 承認再投票について
2	2020.10.7	Web 会議	18	1. WG-C について
3	2020.2.5	Web 会議	17	1. WG-C について

(WG-B 作業部会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.9.29	Web 会議	16	1. ISO/PWI 22031 について 2. ISO/PWI 23742 について

(WG-C 作業部会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.9.29	Web 会議	16	1. WG-C について

(国際会議)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.10.23	第 11 回 ISO/TC142 /WG7 会議 (Web)	3	1. ISO23742 原案素案の協議
2	2020.10.27	TC142/WG5 会議 (Web)	3	1. ISO16313-2NP 原案素案の協議
3	2020.12.2,	TC142Plenary	7	1. ISO/PWI 23742 の活性化投票実施の承認

		Meeting (Web)		2. ISO/PWI 23742 PL 変更の承認
4	2020.12.8	TC142/WG5 会議 (Web)	3	1.ISO16313-2NP 修正原案の協議
5	2021.2.2	TC142/WG5 会議 (Web)	11	1.ISO16313-2NP 修正原案の協議, NP 投票実施の承認

2020.8.26 に中国:東北大学と Web 会議を実施した。(WG5 (ISO16313-2) の修正案に関する協議、WG7 (ISO23742)における評価項目と測定方法等の協議)

6.11.4-1 2020 年度 JIS 原案作成委員会 1 (松山達委員長)

— Z 8801-2:2000 試験用ふるい — 第 2 部:金属製板ふるいの改正—

1. 2020 年度の事業実績概要

JIS Z 8801-2:2000 試験用ふるい — 第 2 部:金属製板ふるいは ISO/DIS 3310-2 をベースに作成されていて、現行の ISO 3310-2:2013 よりもバージョンが古い。経産省担当者より最新版対応の必要性が指摘されたので、改正を行う。第 1 回委員会を 10 月に開催した。

2021 年 4 月に原案を日本規格協会へ提出した。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.10.14	Web 会議	12	JIS 原案作成の基本方針および作業スケジュール、原案(素案)審議
2	2021.3.26	Web 会議	12	原案(最終版)に対する確認、質疑応答等

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2021.3.26	Web 会議	9	原案(最終版)に対する確認、質疑応答等

6.11.4-2 2020 年度 JIS 原案作成委員会 2 (松山達委員長)

— JIS Z 8825 レーザ回折・散乱法の改正—

1. 2020 年度の事業実績概要

JIS Z 8825 レーザ回折・散乱法に対応する ISO 13320 が 2020 年 1 月に改正された。これに対応する JIS の改正を行う。第 1 回委員会を 10 月に開催した。

2021 年 4 月に原案を日本規格協会へ提出した。

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.10.14	Web 会議	17	JIS 原案作成の基本方針および作業スケジュール、原案(素案)審議
2	2021.3.23	Web 会議	15	原案(最終版)に対する確認、質疑応答等

(小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2021.3.23	Web 会議	13	原案(最終版)に対する確認、質疑応答等

6.12 粉じん爆発委員会 (土橋律委員長、山隈瑞樹、太田潔各副委員長)

1.2020 年度の事業実績概要

1)安全教育

- ・粉じん爆発・火災安全研修【初級／基礎編】を 9 月 9-10 日に予定していたが中止した。
- ・粉じん爆発・火災安全研修【中級／技術編】(2 年に 1 回、関東で開催)は、予定通り 2021 年 2 月 25-26 日に開催した。但し、新型コロナウイルス感染防止対策として、V-CUBE によるウェビナーとして行ない、中級研修として過去最高の参加者(68 名)となり、大成功であった。

2)最新の規制、規格等動向および技術情報の把握

- ・検討の必要な課題 2 件について、2 つの WG を設置して検討を開始した。
WG-A: 粉じん危険場所分類検討 WG (リーダー:山隈副委員長)
WG-B: 堆積粉体の着火・燃焼性評価手法ならびに安全対策調査 WG (リーダー:太田副委員長)
- ・JIS Z 8817 および JIS Z 8818 について、用語の変更が必要であることを企画委員会を通じて要請した。

3)行事等への対応

国際粉体工業展東京 2020 における「粉じん爆発情報セミナー」の企画・実施(2020.11.19)

参加者 87 名(委員・講師・事務局 12 名含む)(部屋の定員は 90 名)

主催者挨拶、トピックス紹介:土橋律委員長

講演 1 粉じん爆発現象とその数値シミュレーション

吉田正典氏 (株)爆発研究所 代表取締役社長

講演 2 フレキシブルコンテナの火災事例と規格の改正

山隈瑞樹氏 (一社) 産業安全技術協会 常務理事 粉じん爆発委員会 副委員長

また、展示会場にて、当委員会委員 4 名の所属企業、および山隈副委員長が提供した粉じん爆発の動画が展示期間中数回上映された。

2. 実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.3	Web 会議	23	1. 2019 年度第 3 回委員会議事録確認 2. WG の活動経過報告 3. 2020 年度粉じん爆発火災安全研修【初級】の実施計画・準備 4. 2020 年度粉じん爆発火災安全研修【中級】の計画 5. 国際粉体工業展東京 2020「粉じん爆発情報セミナー」の内容検討 6. 各研修における意見・質問の FAQ 化 7. 国際粉体工業展東京 2020 にて、粉じん爆発動画放映【勉強会】東北大学名誉教授 榎本兵治先生を講師とした勉強会
2	2020.12.22	Web 会議	23	1. 2020 年度第 1 回委員会議事録確認 2. WG-A, B の活動状況報告 3. 経済産業省からの JIS 見直し調査対応報告 4. 国際粉体工業展東京 2020 粉じん爆発情報セミナーの結果報告 5. 2020 年度 粉じん爆発火災安全研修【中級】の計画確認 6. 2020 年度報告・2021 年度計画案の説明・議論 7. 2020 年度第 3 回委員会の計画検討(例年 3 月開催) 【勉強会】東北大学名誉教授 榎本兵治先生を講師とした勉強会
3	2020.3.9	Web 会議	22	1. 2020 年度第 2 回委員会議事録確認 2. WG-A, B の活動状況報告 3. 中級研修の反省 4. 経済産業省からの JIS 見直し調査対応報告 5. 2021 年度の計画

7. 臨時委員会

7.1 創立 50 周年記念事業実行委員会 (牧野尚夫委員長、紅林哲夫副委員長)

1. 2020 年度の事業実績概要

創立 50 周年記念事業内容を検討するため、9 月 3 日に開催した創立 50 周年記念事業委員会で作成した原案を、総務委員会および諮問会議での意見交換による修正を経て、11 月 10 日の理事会で審議し、以下の基本方針を決定した。

- 1) 創立 50 周年記念式典は、2021 年 11 月 18 日に秋期定例会合と同時開催とする。
- 2) 創立 50 周年記念誌については、編集小委員会を設置し作成を進めている。また、「粉体技術誌」2021 年 11 月号で 50 周年記念特集を組む事とする。
- 3) 役員、会員などに配布する記念品、ノベルティグッズの選定を進めている。

2. 実施した会合、会議について

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.9.3	協会本部会議室	10	事業企画および予算他
2	2020.10.5	協会本部会議室	7	記念講演・記念誌・記念品検討他
3	2020.12.11	協会本部会議室	6	記念講演・記念誌・記念品検討他

(記念誌小委員会)

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.8.18	協会本部会議室	3	記念誌検討
2	2020.9.17	協会本部会議室	3	記念誌検討
3	2020.10.15	協会本部会議室	6	記念誌検討
4	2020.11.24.25	協会本部会議室	6	記念誌検討

5	2020.12.21	ホテルグランヴィア京都	8	記念誌検討
6	2021.2.15	協会本部会議室	9	記念誌検討
7	2021.3.19	協会本部会議室	9	記念誌検討

8. 分科会

8.1 粉体ハンドリング分科会

登録会員数 329 人

(松坂修二コーディネータ、河府賢治副コーディネータ、海老原裕之代表幹事[日清エンジニアリング(株)]、鍋内浩副代表幹事[(株)マツシマ メジャテック])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.18	東京/東京ビッグサイト	100	国際粉体工業展の併催イベントとして、『供給と排出』をテーマとした技術講演、関連製品紹介を実施

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.4.10	Web 会議	11	Teams を用いた Web 会議のテスト通信。分科会再開時期を 9 月、11 月とした場合の分科会企画
2	2020.7.2	Web 会議	10	新型コロナウイルス協会指針確認、次回分科会計画、国際粉工展の企画、その他
3	2020.9.15	Web 会議	9	前回議事録確認、国際粉工展の企画、新型コロナウイルス協会指針確認、次回分科会、幹事交代
4	2021.2.1	Web 会議	12	次年度事業計画、次年度分科会企画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.2 粉砕分科会

登録会員数 368 人

(内藤牧男コーディネータ、加納純也副コーディネータ、石井利博代表幹事[アシザワ・ファインテック(株)]、松山勝久副代表幹事[日本コークス工業(株)])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.8.31(再延期)	東京/(株)LIXIL	-	持続可能な社会に貢献する粉体技術
2	2020.10.29 ~10.30(延期)	山口/ ANA クラウンプラザ宇部、宇部興産(株)など	-	粉砕技術とシミュレーション

本年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、第 1 回本会合は再延期、第 2 回本会合は延期した。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.5.7	メール会議	13	2020 年度分科会本会合の検討
2	2020.8.31	東京/ APPIE 東京事務所 WEB 会議	11	2020 年度活動計画の見直しと次年度以降計画検討
3	2020.12.10	東京/ APPIE 東京事務所 WEB 会議	13	2021 年度事業計画案の検討

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2021.2.25 ~2.26	大阪/(株)栗本鐵工所 住吉工場	-	粉砕とは？/粉砕装置の特徴、粉砕プロセスの理解/粉砕プロセス解析のための DEM シミュレーション/粉砕にお

	(中止)			るトラブル対策/粉砕技術の応用と今後の展開/粉砕シミュレーション実習/粉砕機による粉砕実験/講義と実験の整理と発表
--	------	--	--	---

新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、中止とした。

(その他)

- ・国際粉体工業展東京で粉体機器ガイダンス「粉砕(湿式)」を開催した。募集枠 100 名に対し、満員の盛況で参加者に最新の情報を提供できた。
- ・共催行事として、(一社)粉体工学会主催の「芸術と粉体工学に関するワークショップ」第 1 回研究会を 2020.11.6 に山梨県立美術館で開催した。参加者は満員の 20 名となり、盛況であった。

8.3 分級ふるい分け分科会

登録会員数 98 人

(松山達コーディネータ、所千晴副コーディネータ、佐藤一彦代表幹事[晃栄産業(株)]、
荻田容宏副代表幹事[東京スクリーン(株)]、勝又正樹副代表幹事[株徳寿工作所])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2021.03.16	Web 講演会	50	『粉体物性予測と分級ふるい分けに関する最近の現状』

新型コロナ禍状況下で当初に予定していた企業見学を含む分科会活動は実施できなかった。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.08.06	Web 会議	7	2020 年度事業計画と今後の計画
2	2020.12.15	Web 会議	9	2020 年度第 1 回分級ふるい分け分科会開催計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

(その他)今年度はコーディネータ、代表幹事、副代表幹事、一部幹事も新しくなった。

8.4 乾燥分科会

登録会員数 76 人

(田門肇コーディネータ、立元雄治副コーディネータ、諏訪聡代表幹事[月島機械(株)]、
飯田晃弘副代表幹事[株大川原製作所])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11/27	Webinar	37	「微粒子の乾燥技術」をテーマとした講習会を実施した。

当初 2020 年 6/9 に第 1 回分科会として、森永乳業株式会社神戸工場での見学講演会を企画していたが、コロナ感染防止対策を鑑み、中止とした。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.6/9	Web 会議	8	次回分科会の計画と 2021 年度の分科会活動予定
2	2020. 11/6	Web 会議	8	2020 年度の活動内容の確認と 2021 年度の活動内容確認

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
2020 年 10/13~10/14 で、(株)大川原製作所での開催を予定していたが、コロナ感染防止対策を鑑み、中止とした。				

8.5 集じん分科会

登録会員数 278 人

(牧野尚夫コーディネータ、福井国博副コーディネータ、近藤茂雄代表幹事[日本スピンドル製造(株)]、
岡安功史副代表幹事[新東工業(株)])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.19	東京ビッグサイト	85	国際粉体工業展「粉体機器ガイドランス(集じん)」における講演と分科会メンバーによるプレゼンテーション
2	2021.3.16	関西オートメーション (Web 開催)	34	関西オートメーション新設展示ブースの見学とダストモニターの性能評価に関する講演

2020年度の分科会は当初4回を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2回の実施となった。
(幹事会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.19	東京/牛傳	14	次回分科会、分科会・幹事会のWEB開催、粉体技術者養成講座
2	2021.1.21	Web会議	17	次回分科会、2021年度事業計画および予算
3	2021.3.16	Web会議	18	幹事交代、分科会のWEB開催、次回分科会

(専門講座) 開催なし

(粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2020.12.10 ~12.11	名古屋/ウインクあいち	12	集じんの必要性和粒子分離の原則・評価法、各種集じん装置の概要と性能、電気集じん装置の特性と使用法、ろ過集じん装置の特性と設計法、局所排気装置の設計法、集じん装置の性能測定及びフード制御風速測定

8.6 混合・成形分科会

登録会員数 132人

(鈴木道隆コーディネータ、藤正督副コーディネータ、朝日正三代表幹事[㈱徳寿工作所]、菅原一博副代表幹事[菅原精機㈱])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.8.31	㈱LIXIL	延期	持続可能な社会に貢献する粉体技術
2	2021.2月頃	兵庫県立大学 金属 新素材研究センター	延期	金属3Dプリンタを用いた金属粉末成型技術

今年度は新型コロナウイルスの影響により計画した全ての分科会活動が中止、延期になった。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.9.25	Web会議	9	幹事会、2020年度活動内容確認および2021年度の計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2020.10.22 ~10.23	㈱栗本鐵工所	中止	粉体エンジニア早期養成講座「混合・混練」

8.7 造粒分科会

登録会員数 412人

(村瀬和典コーディネータ、武井孝副コーディネータ、小泉一郎代表幹事[㈱ダルトン]、岩松英敏副代表幹事[㈱奈良機械製作所])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2021.1.26 (予定)	Web講演会	40	小型スケルトン装置による粒子挙動の可視化

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.5.18	Web会議	7	2020年度行事計画の為の小幹事会

2	2020.6.15	Web 会議	11	2020 年度行事計画の為の幹事会
3	2020.12.10	Web 会議	13	2021 年度行事計画の為の幹事会
4	2021.2.12	Web 会議	12	1/26Web セミナー報告及び 2021 年度行事計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.8 計装測定分科会

登録会員数 126 人

(森康維コーディネータ、後藤邦彰副コーディネータ、鷺尾一裕代表幹事[株式会社島津製作所]、阿川直樹副代表幹事[株式会社セイシン企業]、池田英幸副代表幹事[株式会社スペクトリス(株)マルバーン・パナリティカル事業部])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2021.3.16	Web 講演会	45	最新の電池材料用粉体の動向とその評価

(幹事会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.9.7	Web 会議	9	拡大分科会運営委員会の議事内容共有化と、オンラインイベントに関する意見交換とテーマ検討 他
2	2020.12.16	Web 会議	9	オンライン講演会の計画立案 来期分科会、技術者養成講座の計画立案 来期体制の確認他
3	2021.3.1	Web 会議	9	Web 講演会の詳細準備や予行演習など
4	2021. 3.16	Web 会議	8	Web 講演会の反省、来期予定の確認。

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
	2020. 8 月	株式会社マイクロトラック・ベル		コロナ禍により中止

8.9 湿式プロセス分科会

登録会員数 84 人

(岩田政司コーディネータ、菰田悦之副コーディネータ、石川敏代表幹事[関西金網(株)])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

開催せず。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.10.9	兵庫/日本スピンドル製造	13	(1)次回分科会について、(2)粉体エンジニア早期養成講座の準備、(3)日本スピンドル製造(株)の工場見学

(専門講座)

開催せず。

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
1	2021. 1.28	大阪/関西金網、栗田機械製作所およびオンライン	緊急事態宣言発出のため最少開催人数に達せず中止	①ろ過の基礎理論、②ろ過装置の特徴と使用方法、③ろ材の特徴と使用方法、④膜ろ過概論、⑤ろ材・分離膜の最近の動向、⑥定圧ろ過実験

8.10 輸送分科会

登録会員数 146 人

(田中敏嗣コーディネータ、武居昌宏副コーディネータ、井上照男代表幹事[ツカサ工業(株)]、岸本武志副代表幹事[三興空気装置(株)]、松井哲也副代表幹事[アマノ(株)]、以下 5 名の幹事)

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座
(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.12.16	web講演会	27	小惑星探査機「はやぶさ2」サンプルリターンプロジェクトについてとAIのインピーダンス・トモグラフィ計測への応用技術についての講演および製品紹介
2	2021.3.16	web講演会	23	DEMを基軸とした粒子破壊シミュレーションについてと企業におけるIoTの利用に関する講演および製品紹介

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.9.8	Web 会議	8	各自近況報告、拡大分科会報告、今年度の活動
2	2020.10.9	Web 会議	7	オンライン分科会企画案に内容の詰め
3	2021.1.7	Web 会議	8	第1回分科会の反省会、2021年度事業計画、次回分科会
4	2021.1.15	Web 会議	8	第2回分科会計画

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.11 クリーン化分科会

登録会員数 184 人

(並木則和コーディネータ、鍵直樹副コーディネータ、林敏昭代表幹事[東洋紡(株)]、松田朋信副代表幹事[リオン(株)])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.10.27	Web 講演会(微粒子ナノテク分科会と合同)	41 (62)	「エアロゾル動力学の基礎とエアフィルトレーション」「液中における微粒子の基礎」「気相液相の微粒子計測技術」

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.7.2	Web 会議	8	「粉体技術」クリーン化特集の企画内容について、今年度の分科会開催について、幹事増強について
2	2020.10.2	Web 会議	9	第1回分科会(微粒子ナノテクとの合同)の準備について

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.12 環境エネルギー・流動化分科会

登録会員数 62 人

(幡野博之コーディネータ、成瀬一郎副コーディネータ、山本昌幸代表幹事[メタウォーター(株)]、細田博之副代表幹事[(株)神鋼環境ソリューション])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.6.26	三重/リサイクルの森・くわなメディアライヴ	26	最新ごみ発電設備見学と講演会 【見学会】桑名広域清掃事業組合資源環境センター 【講演会】名古屋大成瀬教授
2	2020.9.26	福島/産総研・福島再生可能エネルギー研究所	15	再生可能エネルギー研究施設見学と講演 【見学会】福島再生可能エネルギー研究所(産総研) 【講演会】産総研中岩所長、古谷センター長
3	2020.12.10 ~12.11	熊本/バンブーエナジー(株)・大仁産業(株)	22	再生可能エネルギー施設見学と講演 【見学会】バンブーエナジー(竹発電)、大仁産業(木質ガス化) 【講演会】東京農工大堀尾名誉教授

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.5.15	Web 会議	5	桑名見学講演会実施可否について(新型コロナ対応)

2	2020.9.26	福島県郡山市	9	第2回見学会反省と第3回見学講演会について
3	2020.12.10	熊本県阿蘇郡	10	2020年度の振り返りと来年度分科会活動方針について
4	2021.1.28	Web会議	9	2021年度分科会活動内容について

(専門講座)

開催なし(専門講座開催に必要な要件を満たす見込みがないため)

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

開催なし(本講座開始より以前から同内容の講座を幡野コーディネータが毎年開催しているため)

8.13 晶析分科会

登録会員数 156 人

(白川善幸コーディネータ、正岡功士副コーディネータ、松本真和副コーディネータ、伊藤雅章代表幹事〔株ノリタケカンパニーリミテド〕、金子雅哉副代表幹事〔味の素(株)〕)

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.19	Web講演会	33	医薬品化合物の晶析や物性評価 (粉体工学会 共結晶 WS 協賛)
2	2021.3.12	千里ライフサイエンスセンター(大阪)	20	連続晶析装置設計手順と晶析設計線図適用 (カヅラギ工業(株)様ご協力 2020.12.10を延期)

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.7.15	Web会議	9	新幹事紹介、分科会連絡会議での連絡事項、2020年度分科会行事、開催時期
2	2020.10.21	Web会議	10	第1回分科会準備状況、第2回分科会概要、
3	2020.12.10	Web会議	8	第1回分科会振り返り、第2回分科会延期日程、2021年度分科会行事

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.14 微粒子ナノテクノロジー分科会

登録会員数 243 人

(神谷秀博コーディネータ、宮原稔、飯島志行各副コーディネータ、福井武久代表幹事〔株栗本鐵工所〕、鳥居経芳副代表幹事〔スペクトリス(株) マルバーン・パナリティカル事業部〕)

1. 2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.10.27	Web講演会(クリーン化分科会合同)	25 (64)	微粒子・ナノ粒子、エアロゾルの基礎とその評価方法

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.7.29	Web会議	8	2020年度の運営・活動計画の審議
2	2020.8.19	Web会議	7	第1回分科会オンライン会議に関する討議
3	2021.3.2	Web会議	10	2020年度活動の振り返り、及び 2021年度の運営・活動計画の審議

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.15 電池製造技術分科会

登録会員数 400 人

(境哲男コーディネータ、堤敦司副コーディネータ、秋元祐代表幹事〔赤武エンジニアリング(株)〕、佐藤高公副代表幹事〔株セイシン企業〕、堀越勝副代表幹事〔株パウレック〕)

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.6	東京大学 生産技術研究所		中止
2	2020.11	大阪		中止
3	2021.02			中止

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.6	東京大学 生産技術研究所		中止
2	2020.11	大阪		中止
3	2021.02			中止

コロナ感染拡大のため、予定していた3回の分科会、幹事会をすべて中止した。Webでの講演会も検討したが、本分科会の趣旨は、最新情報の収集だけでなく、講師を分科会に招いてのビジネス交流が主な目的であるため、開催を中止することにした。

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.16 リサイクル技術分科会

登録会員数 280 人

(大矢仁史コーディネータ、外川健一副コーディネータ、齊藤陽代表幹事[㈱タナベ]、西村佳記副代表幹事[エステック㈱])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.12.23	㈱セイシン企業/東日本事業部 (Zoomによるリモート講演会)	28	「AI、IoTによるリサイクル技術の高度化」をテーマとした講演会

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.9.29	Web会議	6	第1回分科会の開催内容協議
2	2020.10.15	Web会議	6	第1回分科会の開催内容協議
3	2020.11.5	Web会議	7	第1回分科会の開催内容協議
4	2020.11.17	Web会議	7	第1回分科会の開催内容協議
5	2020.12.23	Web会議	7	来年度分科会計画について

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.17 食品粉体技術分科会

登録会員数 255 人

(羽倉義雄コーディネータ、五月女格副コーディネータ、野村光生代表幹事[㈱日清製粉グループ本社]、西村元樹副代表幹事[㈱西村機械製作所])

2020年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

本年度は、第1回「ロボット活用」、第2回「食品受託加工」および第3回「バイオ粒子」をテーマに分科会開催を計画していたが、コロナ禍の影響で開催が難しく、来年度へ延期する計画変更を行った。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.9.14	Web会議	11	分科会活動計画、専門講座計画
2	2020.11.9	Web会議	9	分科会活動計画、専門講座計画、次年度分科会活動計画

(専門講座)

2020年3月13日に開催を予定していた専門講座に関しては、一旦延期としたが、改めて2021年6月16日に開催する。

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.18 粒子加工技術分科会

登録会員数 155 人

(竹内洋文コーディネータ、岩本清副コーディネータ、浅井直親代表幹事[㈱ダルトン]、伊藤有一副代表幹事[信越化学工業㈱])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.6.26	ファンケル美健千葉工場	-	コロナのため、中止
2	2020.9.18	花王和歌山工場	-	コロナのため、中止
3	2021.02 月	東芝ナノアナリシス	-	コロナのため、中止

2021 年 5 月に web にて講演会を開催する予定である。4 人の講師に粒子加工及び製剤に関してご講演いただく。(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.06.25	名古屋安保ホール	14	今年度開催予定の分科会について(web 会議併設)
2	2020.07.31	Web 会議	14	今年度の共催行事について
3	2020.09.18	Web 会議	14	分科会および粒子設計シンポジウム等の行事について
4	2021.01.29	Web 会議	14	来年度分科会について 5 月 28 日実施予定の講演会(WEB)について

(専門講座) 開催無し

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)

回	日程	場所	人数	講座概要
5	2021.02.03 -02.04	大阪/パウレック	非常事態宣言発 出のため中止	粒子加工概説/粒子加工のための装置/造粒メカニズム/成形メカニズム/機能化のための粒子加工/粒子加工の実際 ガイダンス/実習

8.19 粉体シミュレーション技術利用分科会

登録会員数 225 人

(酒井幹夫コーディネータ、石神徹副コーディネータ、島田憲成代表幹事[㈱構造計画研究所]、小澤和三副代表幹事[日清エンジニアリング㈱])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.18	東京ビックサイト	73	国際粉体工業展東京 2020 にて ・最新情報フォーラム ・粉体シミュレーション出展社プレゼンテーションを実施

粉体シミュレーションの利用技術の普及を目的とした対面型の技術講習会を 9 月に企画したが、コロナの影響から申し込みが集まらず開催を見送りとした。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.7.21	Web 会議	15	前年度の収支報告、20 年度の活動計画
2	2020.3.24	Web 会議	18	20 年度の活動振り返りと次年度分科会の活動計画

(専門講座) なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座)なし

8.20 粒子積層技術分科会

登録会員数 223 人

(山村方人コーディネータ、瀬戸章文副コーディネータ、中尾修也代表幹事[㈱村田製作所]、中村圭太郎副代表幹事[㈱日清製粉グループ本社])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2021.3.3	Web 講演会	25	湿式塗布技術

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.10.29	Web 会議	9	第1回分科会活動の方法
2	2020.11.24	Web 会議	9	第1回分科会活動の内容
3	2020.2.10	Web 会議	9	第1回分科会活動の役割分担、分科会について

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

8.20 バイオ粒子プロセス分科会

登録会員数 50 人

(野村俊之コーディネータ、荻崇副コーディネータ、山田善之代表幹事[日本たばこ産業株式会社]、秋山聡副代表幹事[日清エンジニアリング株式会社])

2020 年度の事業実績概要

実施した本会合、幹事会、小委員会、専門講座、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座

(分科会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.11.20	東京ビッグサイト	44	最新情報フォーラム(国際粉体工業展東京併催行事) — 微粒子工学的視点から見た微生物の評価、利用、計測 —

2020 年度が、バイオ粒子プロセス分科会の活動初年度であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により参加者の安全を優先して、予定していた合同分科会2件を延期することとした。

(幹事会、小委員会)

回	日程	場所	人数	テーマ
1	2020.8.24	Web 会議	4	分科会開催計画について
2	2020.12.3	Web 会議	9	第 2 回分科会について

(専門講座) 開催なし

(粉体エンジニア早期養成講座・粉体技術者養成講座) 開催なし

9. 粉体工業技術センター (山田幸良センター長、前田孝善副センター長)

9.1 教育部門 (牧野尚夫マネジャー、松坂修二、藤井淳各副マネジャー)

2020 年度は、粉体入門セミナーや粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座等の様々な講座を下表のように開催する予定だったが、Covid-19 感染防止のため残念ながら多くの講座が中止または Web セミナーなどへの変更を余儀なくされた。

部門会議は、教育部門の活動内容の確認、粉体入門セミナーの開催方式、講義内容および講師の見直し、粉体エンジニア早期養成講座、粉体技術者養成講座の実施状況の確認などをテーマに 12 月に開催した。このうち、粉体入門セミナーについては、2021 年度の開催方式、講義内容と講師を決定し、粉体技術者養成講座、粉体技術専門講座については、2021 年度計画の概要をチェックした。なお、粉体エンジニア早期養成講座については 2020 年度を以て終了とし、2021 年度からは「粉体技術者養成講座」に一本化して実施する。

1. 2020 年度の事業実績概要

講座名とタイトル		開催日	開催場所	参加者数
粉体入門セミナー(I) (第 59 回)		2020.9.1~2	Web セミナー	50
粉体入門セミナー(II) (第 60 回)		2020.9.17~18	Web セミナー	50
粉体入門セミナー(III) (第 61 回)		2020.10.1~2	Web セミナー	59
粉体 エンジニア 早期 養成 講座	計測・測定	2020.8.4~5	大阪/マイクロトラック・ベル(株)大阪アプリケーションラボ	中止
	乾燥	2020.10.13~14	静岡/(株)大川原製作所	中止
	混合・混練	2020.10.22~23	大阪/(株)栗本鐵工所	中止
	ろ過	2021.1.28~29	1 日目: 大阪/関西金網(株) 2 日目: 大阪/(株)栗田機械製作所	中止

	粒子加工	2021.2.3～4	兵庫/㈱パウレック	中止
	粉砕	2021.2.25～26	大阪/㈱栗本鐵工所	中止
	粉体技術者養成講座【集じん】	2020.12.10～11	名古屋/ウインクあいち	12
	粉じん爆発・火災安全研修 [初級・基礎編]	2020.9.8～9	大阪/(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター	中止
	粉じん爆発・火災安全研修 [中級・技術編]	2020.2.25～26	Web セミナー	68

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.12.15	協会本部会議室 Web 会議	14	1.前回議事録の確認 2.2020年度事業計画 進捗状況の報告 3.2021年度粉体入門セミナー開催方法・内容などの検討 4.2021年度事業計画 起案 5.粉体技術者養成講座運営方法などの検討

(小委員会)開催なし

9.2 製造事業部門 (前田孝善マネジャー)

1. 2020年度の事業実績概要

1-1 売上高・支出の推移

(単位:千円)

	2019年度実績	2020年度予算	2020年度実績予想
売上(千円)	95,160	98,000	77,273
売上前年度比(%)	104.8	103.1	81.2
事業費(支出、千円)	70,677	70,000	55,205
収支差(千円)	24,483	28,000	22,068

1-2 2020年度の重要項目の状況

1)実績予想

売上 77,273 千円(予算比 78.9%、前年度比 81.2%)、利益(収支差) 22,068 千円(予算比 78.8%、前年度比 90.1%)と予想している。

2)標準粉体業務委受託契約書

ホソカワミクロン(株)の受託加工部が子会社化により、ホソカワ受託加工(株)となった。

これに合わせて受託契約書の更新を 2020 年 10 月 1 日付けで行った。

3)ガラスビーズ GBM-20・混合 3 種の販売について

ガラスビーズ GBM-20 は、製造元での製造が難しくなったため、在庫限りで販売終了とする。混合 3 種も原材料の管理が難しく、注文も極めて少ないため、2021 年 3 月 31 日を目途に販売を終了予定である。(HP にて案内済み)

4)海外向けの出荷に関する保険加入について

海外へ出荷した商品の一部が配送時に破損、紛失したため、2020 年 11 月以降、海外貨物には保険を適用することとした。

9.3 産学技術交流推進部門 (後藤邦彰マネジャー、三宅康雄副マネジャー)

1. 2020年度の事業実績概要

1) 技術相談

2020年度 申込み数 13 件 うち技術相談(面談)に発展 3 件 うち 技術指導へ移行 0 件

2) APPIE 産学官連携フェア

粉体工業展大阪と併催で、隔年開催のため、2020年度は開催なし。

3) テクノブラザ

国際粉体工業展東京に合わせて、開催を予定していたが、中止となった。

4) 粉体技術セミナー

講座名	開催日	開催場所	参加者数
第 4 回ベストシーズ講演会	2020.10.30	メルパルク京都	19

講師: 白川善幸氏、佐藤根大士氏、岡田洋平氏

2.実施した会合、会議

回	月・日	場所	人数	議題
1	2020.6.16	Web 会議	7	1.産学技術交流推進部門委員 2.前回議事録の確認 3.第4回ベストシーズ講演会 4.テクノプラザ 2020 5.APPIE 産学官連携フェア 2019 の6ヶ月後アンケート結果確認 6.APPIE 産学官連携フェア 2021 7.次回会議の予定
2	2020.10.30	メルパルク 京都	8	1.前回議事録の確認 2.第4回ベストシーズ講演会 3.APPIE 産学官連携フェア 2021 4.シーズ募集方法の確認 5.テクノプラザ 2021 6.次回会議の予定
3	2021.3.15	協会本部 会議室、 Web 会議	8	1.前回議事録の確認 2.委員会・部門連絡会議の報告 3.技術相談報告 3.第4回ベストシーズ講演会アンケート結果確認 4.APPIE 産学官連携フェア 2021 5.次回会議の予定

10. 技術情報交流懇話会

10.1 火曜会(東京)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
-	2020. 4.14	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
-	2020. 7.14	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
290	2020. 10.13	協会協会東 京事務所(懇 親会は中止)	36	東京ガーデ ンパレス	「ウィズコロナに着 目、働き方改革と労 務トラブル対策」	SRO 労務法務コンサルティング 杉本一裕氏
291	2021. 1.12	協会協会東 京事務所(懇 親会は中止)	25	同上	「HEROZ Kishin」の 最新 AI 活用事例	HEROZ(株) 代表取締役COO 高橋知裕氏

10.2 水曜会(名古屋)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
-	2020. 6.10	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
65	2020. 10.21	協会本部(懇 親会は中止)	23	名鉄ニューグ ランドホテル	「バイオ粒子が関係 する界面現象の微 粒子工学的理解」	大阪府立大学大学院 工学 研究科化学工学分野 教授 野村俊之氏
66	2021. 2.17	杉山重工(株)	30	同上	「金属チタン製錬と 粉体操作」	元東邦チタニウム(株)取締役専 務執行役員 小瀬村晋氏

10.3 木曜会(大阪)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
-	2020. 4.9	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
219	2020. 9.10	関西金網(株) (懇親会は中 止)	31	ANA クラウ ンプラザホ テル大阪	「企業コンプライア ンスのあり方」	室谷総合法律事務所 代表 弁護士 室谷光一氏
220	2020. 12.10	協会本部(懇 親会は中止)	18	同上	「AI が切り開く医療・ 製剤の将来」	愛知学院大学 薬学部製剤 学講座 教授 山本浩充氏

10.4 金曜会(福岡)

回	日程	当番会社	出席者数	場所	講演題目	講師
-	2020.7.3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				
64	2020.11.27	(株) マツシマ メジャテック	23	博多エクセル ホテル東急	「地球温暖化を考 える」	北九州市立大学大学院 教授 伊藤洋氏
-	2021.2.12	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止				

11. 共催・協賛および後援行事 (2020.4.1~2021.3.31)

11.1 共催 1件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第37回エアロゾル科学・技術研究討論会	2020.8.27 ~8.28	熊本/熊本県立大学	日本エアロゾル学会

11.2 協賛 13件

行事名	開催日	開催場所	主催団体
第 37 回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会	2020.4.21 ~4.22	東京/早稲田大学国際会議場	(公社)日本空気清浄協会
化学工学会「プラントエンジニアリングコース」「安全エンジニアリングコース」	2000.5月~ 2021.2月	東京、千葉	(公社)化学工学会
色材セミナー	2020.6.3	大阪/ドーンセンター	(一社)色材協会 関西支部
第 18 回技術講演会	2020.6.30 ~7.1	京都/京都国際会館	新製剤技術とエンジニアリングを考える会
プラントショー-OSAKA2020	2020.7.29 ~7.31	大阪/インテックス大阪	(公社)化学工学会 (一社)日本能率協会
粒子・流体プロセス技術コース2020	2020.9.11	東京/中央大学後楽園キャンパス	(公社)化学工学会粒子・流体プロセス部会流動層分科会
炭素材料技術セミナー	2020.10.15	岩手/岩手県工業技術センター	(地独)岩手県工業技術センター
第 27 回イブニングセミナー	2021.1.12 ~1.13	オンライン開催	(公社)化学工学会関東支部
次世代放射光「第5回コアリションコンファレンス」	2021.1.28	仙台/仙台国際センター	(一財)光科学イノベーションセンター
第 30 回顔料分散講座	2020.2.5	東京/東京塗料会館	(一社)色材協会
第 11 回塗装入門講座	2020.2.9 ~2.10	オンライン開催	(一社)日本塗装技術協会
INTERMEASURE2021	2021.2.17 ~2.19	東京/東京ビッグサイト	(一社)日本計量機器工業連合会
2020年度第1回講演会	2021.2.26	オンライン開催	(一社)日本塗装技術協会

11.3 後援 —

12. 刊行物

12.1 「粉体技術」

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 「粉体技術」編集委員会
発行 (一社)日本粉体工業技術協会
月刊誌 (1,650円・税込) (A4版 約100ページ 約1,500部/月)

12.2 日本粉体工業技術協会 事業案内(和文2020年度版) A4版 11ページ

編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行 2020年8月(300部)

12.3 日本粉体工業技術協会 会員名簿(2020/2021年度版) A4版 107ページ

編集/発行所:(一社)日本粉体工業技術協会
発行 2020年11月(750部)

12.4 第59回粉体入門セミナーⅠ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会(企画)
協賛 (公社)化学工学会
発行 2020年9月1日(A4版/146ページ/58部)

12.5 第60回粉体入門セミナーⅡ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会(企画)
協賛 (公社)化学工学会
発行 2020年9月17日(A4版/217ページ/67部)

12.6 第61回粉体入門セミナーⅢ テキスト

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
共催 (一社)粉体工学会(企画)
協賛 (公社)化学工学会
発行 2020年10月1日(A4版/212ページ/71部)

12.7 粉体技術者養成講座 第1回[集じん]

主催 (一社)日本粉体工業技術協会
協賛 (公社)化学工学会
発行 2020年12月10日(A4版/107ページ/21部)

12.8 粉じん爆発情報セミナー

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
発行 2020年11月19日(A4版/26ページ)

12.9 粉じん爆発・火災安全研修【中級/技術編】 ppt資料

主催 (一社)日本粉体工業技術協会/(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
企画 (一社)日本粉体工業技術協会 粉じん爆発委員会
後援 (公社)産業安全技術協会
発行 2021年2月25日(A4版/124ページ/100部)

12.10 APPIE annual Report 2019

編集 (一社)日本粉体工業技術協会 海外交流委員会
発行 2020年8月27日(A4版/9ページ/1,100部)

12.11 粉体技術総覧2020/2021

編集 (一社)日本粉体工業技術協会
発行 2020年11月18日(A4版/287ページ/12000部)

12.12 アカデミックコーナー「若手研究者が語る未来の粉体技術」の紹介(国際粉体工業展東京2020)

編集 (一社)日本粉体工業技術協会
発行 2020年11月19日(A4版/15ページ/350部)